

---

# 手術部位感染（SSI）部門 仕様確認書

---

【 公開情報（年報） 】

2026 年以降版

## 改版履歷

[illegible]

## 目次

1. データフォーマット .....	8
2. 共通仕様 .....	9
2.1. 仕様書内の表現規則 .....	9
2.1.1. 項目 .....	9
2.1.2. 結果 .....	9
2.2. 共通条件 .....	10
2.2.1. 年報作成の対象医療機関 .....	10
2.2.2. 対象期間 .....	10
2.2.3. 医療機関 .....	10
2.2.4. 集計対象医療機関 .....	10
2.2.5. 各医療機関 .....	10
2.2.6. 手術手技 .....	10
2.2.7. 手術手技分類 .....	10
2.2.8. 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技 .....	12
2.2.9. 数値の表記について .....	12
2.2.10. データ集計日 .....	12
2.2.11. 公開情報掲載日 .....	12
2.2.12. 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技 .....	12
2.2.13. 検体 .....	12
2.3. 提出データ構造 .....	14
2.3.1. 重複データ .....	14
3. 共通計算式 .....	15
3.1. 共通計算式一覧 .....	15
3.1.1. SSI 件数 .....	15
3.1.2. 手術件数 .....	15
3.1.3. SSI 発生率 .....	15
3.1.4. 対象分離菌数 .....	15
3.1.5. リスクインデックス .....	15
3.1.6. カットオフポイント .....	16
3.1.7. 各パーセンタイル .....	17
3.1.8. 各性別 .....	18
3.1.9. 内視鏡の有無 .....	18
3.1.10. 原因菌ごとの対象分離菌数 .....	18
3.1.11. 特定の菌グループの対象分離菌数 .....	23
3.1.12. 緊急と待機 .....	23
3.1.13. 埋入物の有無 .....	23

3.1.14. 人工肛門造設の有無	23
3.1.15. 各感染部位	24
3.1.16. 人工肛門造設カットオフポイント	25
3.1.17. 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス	26
4. 帳票別仕様書	28
4.1. 公開表 1.	28
[ 帳票イメージ ]	28
[ 帳票書式 ]	30
[ 算出方法について ]	31
4.1.1. 対象期間	31
4.1.2. 全手術手技合計 集計対象医療機関数	31
4.1.3. 全手術手技合計 手術件数合計	31
4.1.4. 全手術手技合計 各医療機関の手術件数の分布	31
4.1.5. 全手術手技合計 年齢 平均値	31
4.1.6. 全手術手技合計 年齢 中央値	31
4.1.7. 全手術手技合計 性別ごとの手術件数	31
4.1.8. 全手術手技合計 SSI 件数合計	31
4.1.9. 全手術手技合計 全体の SSI 発生率	31
4.1.10. 手術手技コード	32
4.1.11. 集計対象医療機関数	32
4.1.12. 手術件数合計	32
4.1.13. 各医療機関の手術件数の分布	32
4.1.14. 年齢 平均値	32
4.1.15. 年齢 中央値	32
4.1.16. 性別ごとの手術件数	32
4.1.17. 内視鏡有無ごとの手術件数	32
4.1.18. 緊急、待機の手術件数	33
4.1.19. 埋入物の有無ごとの手術件数	33
4.1.20. SSI 件数合計	33
4.1.21. 全体の SSI 発生率	33
4.1.22. 各医療機関の SSI 発生率の分布	33
4.1.23. 性別 SSI 件数	33
4.1.24. 内視鏡有無ごとの SSI 件数	33
4.1.25. 緊急と待機の SSI 件数	33
4.1.26. 埋入物の有無ごとの SSI 件数	34
4.1.27. 感染部位別 SSI 件数	34
4.1.28. データ集計日	34
4.1.29. 公開情報掲載日	34
4.2. 公開表 2.	35
[ 帳票イメージ ]	35
[ 帳票書式 ]	37
[ 算出方法について ]	38

4.2.1. 対象期間 .....	38
4.2.2. 手術手技コード .....	38
4.2.3. 合計 手術件数合計 .....	38
4.2.4. 合計 RI-0 手術件数 .....	38
4.2.5. 合計 RI-0 SSI 件数 .....	38
4.2.6. 合計 RI-0 SSI 発生率 .....	38
4.2.7. 合計 RI-1 手術件数 .....	38
4.2.8. 合計 RI-1 SSI 件数 .....	38
4.2.9. 合計 RI-1 SSI 発生率 .....	39
4.2.10. 合計 RI-2 手術件数 .....	39
4.2.11. 合計 RI-2 SSI 件数 .....	39
4.2.12. 合計 RI-2 SSI 発生率 .....	39
4.2.13. 合計 RI-3 手術件数 .....	39
4.2.14. 合計 RI-3 SSI 件数 .....	39
4.2.15. 合計 RI-3 SSI 発生率 .....	39
4.2.16. 内視鏡無 手術件数合計 .....	40
4.2.17. 内視鏡無 RI-0 手術件数 .....	40
4.2.18. 内視鏡無 RI-0 SSI 件数 .....	40
4.2.19. 内視鏡無 RI-0 SSI 発生率 .....	40
4.2.20. 内視鏡無 RI-1 手術件数 .....	40
4.2.21. 内視鏡無 RI-1 SSI 件数 .....	40
4.2.22. 内視鏡無 RI-1 SSI 発生率 .....	40
4.2.23. 内視鏡無 RI-2 手術件数 .....	41
4.2.24. 内視鏡無 RI-2 SSI 件数 .....	41
4.2.25. 内視鏡無 RI-2 SSI 発生率 .....	41
4.2.26. 内視鏡無 RI-3 手術件数 .....	41
4.2.27. 内視鏡無 RI-3 SSI 件数 .....	41
4.2.28. 内視鏡無 RI-3 SSI 発生率 .....	41
4.2.29. 内視鏡有 手術件数合計 .....	42
4.2.30. 内視鏡有 RI-0 手術件数 .....	42
4.2.31. 内視鏡有 RI-0 SSI 件数 .....	42
4.2.32. 内視鏡有 RI-0 SSI 発生率 .....	42
4.2.33. 内視鏡有 RI-1 手術件数 .....	42
4.2.34. 内視鏡有 RI-1 SSI 件数 .....	42
4.2.35. 内視鏡有 RI-1 SSI 発生率 .....	43
4.2.36. 内視鏡有 RI-2 手術件数 .....	43
4.2.37. 内視鏡有 RI-2 SSI 件数 .....	43
4.2.38. 内視鏡有 RI-2 SSI 発生率 .....	43
4.2.39. 内視鏡有 RI-3 手術件数 .....	43
4.2.40. 内視鏡有 RI-3 SSI 件数 .....	43
4.2.41. 内視鏡有 RI-3 SSI 発生率 .....	44
4.2.42. 人工肛門造設 合計 手術件数合計 .....	44

4.2.43.	人工肛門造設 合計 RI-0 手術件数	44
4.2.44.	人工肛門造設 合計 RI-0 SSI 件数	44
4.2.45.	人工肛門造設 合計 RI-0 SSI 発生率	44
4.2.46.	人工肛門造設 合計 RI-1 手術件数	44
4.2.47.	人工肛門造設 合計 RI-1 SSI 件数	44
4.2.48.	人工肛門造設 合計 RI-1 SSI 発生率	45
4.2.49.	人工肛門造設 合計 RI-2 手術件数	45
4.2.50.	人工肛門造設 合計 RI-2 SSI 件数	45
4.2.51.	人工肛門造設 合計 RI-2 SSI 発生率	45
4.2.52.	人工肛門造設 合計 RI-3 手術件数	45
4.2.53.	人工肛門造設 合計 RI-3 SSI 件数	45
4.2.54.	人工肛門造設 合計 RI-3 SSI 発生率	45
4.2.55.	人工肛門造設無 手術件数合計	46
4.2.56.	人工肛門造設無 RI-0 手術件数	46
4.2.57.	人工肛門造設無 RI-0 SSI 件数	46
4.2.58.	人工肛門造設無 RI-0 SSI 発生率	46
4.2.59.	人工肛門造設無 RI-1 手術件数	46
4.2.60.	人工肛門造設無 RI-1 SSI 件数	46
4.2.61.	人工肛門造設無 RI-1 SSI 発生率	46
4.2.62.	人工肛門造設無 RI-2 手術件数	47
4.2.63.	人工肛門造設無 RI-2 SSI 件数	47
4.2.64.	人工肛門造設無 RI-2 SSI 発生率	47
4.2.65.	人工肛門造設無 RI-3 手術件数	47
4.2.66.	人工肛門造設無 RI-3 SSI 件数	47
4.2.67.	人工肛門造設無 RI-3 SSI 発生率	47
4.2.68.	人工肛門造設有 手術件数合計	48
4.2.69.	人工肛門造設有 RI-0 手術件数	48
4.2.70.	人工肛門造設有 RI-0 SSI 件数	48
4.2.71.	人工肛門造設有 RI-0 SSI 発生率	48
4.2.72.	人工肛門造設有 RI-1 手術件数	48
4.2.73.	人工肛門造設有 RI-1 SSI 件数	48
4.2.74.	人工肛門造設有 RI-1 SSI 発生率	49
4.2.75.	人工肛門造設有 RI-2 手術件数	49
4.2.76.	人工肛門造設有 RI-2 SSI 件数	49
4.2.77.	人工肛門造設有 RI-2 SSI 発生率	49
4.2.78.	人工肛門造設有 RI-3 手術件数	49
4.2.79.	人工肛門造設有 RI-3 SSI 件数	49
4.2.80.	人工肛門造設有 RI-3 SSI 発生率	50
4.2.81.	データ集計日	50
4.2.82.	公開情報掲載日	50
4.3.	公開表 3	51
	[ 帳票イメージ ]	51

[ 帳票書式 ] .....	53
4.3.1. 対象期間 .....	54
4.3.2. 全手術手技合計 SSI 件数合計 .....	54
4.3.3. 全手術手技合計 培養検査施行件数合計 .....	54
4.3.4. 全手術手技合計 総分離菌数 .....	54
4.3.5. 全手術手技合計 原因菌上位 5 菌種 菌名 .....	54
4.3.6. 全手術手技合計 原因菌上位 5 菌種 分離菌数 .....	54
4.3.7. 検体コード .....	55
4.3.8. 各検体別の SSI 件数合計 .....	55
4.3.9. 各検体別の培養検査施行件数合計 .....	55
4.3.10. 各検体別の総分離菌数 .....	55
4.3.11. 各検体別の原因菌上位 5 菌種 菌名 .....	55
4.3.12. 各検体別の原因菌上位 5 菌種 分離菌数 .....	55
4.3.13. 手術手技コード .....	56
4.3.14. SSI 件数合計 .....	56
4.3.15. 培養検査施行件数合計 .....	56
4.3.16. 総分離菌数 .....	56
4.3.17. 原因菌上位 5 菌種 菌名 .....	57
4.3.18. 原因菌上位 5 菌種 分離菌数 .....	57
4.3.19. データ集計日 .....	57
4.3.20. 公開情報掲載日 .....	57
4.4. 資料 手術手技コード、手術時間カットオフポイント一覧 .....	58
[ 帳票イメージ ] .....	58
[ 帳票書式 ] .....	59
[ 算出方法について ] .....	60
4.4.1. コード .....	60
4.4.2. 手術時間カットオフポイント（全体） .....	60
4.4.3. 手術時間カットオフポイント（内視鏡有） .....	60
4.4.4. 手術時間カットオフポイント（内視鏡無） .....	60
4.4.5. カットオフポイント算出に用いるデータの期間 .....	60

# 1. データフォーマット

JANIS サイトに公開されている下記の SSI 部門データフォーマットを参照

[https://janis.mhlw.go.jp/section/format/dataformat\\_ssi\\_ver3.0\\_20251201.xls](https://janis.mhlw.go.jp/section/format/dataformat_ssi_ver3.0_20251201.xls)

NO	必須	項目名	長さ (最大桁数)	内容
1	○	バージョン情報	4	V301
2	○	医療機関	5	医療機関コード(5文字)
3	○	手術年月日	8	YYYYMMDD 《西暦年、月、日。2008 年 2 月 1 日は、20080201》
4	○	患者 ID	15	半角 15 桁まで。《半角英数字とハイフン“-”のみ使用可能。復号可能な暗号化を施してあること。》
5	○	年齢	3	手術日現在の年齢
6	○	性別	1	M = 男性、F = 女性
7	○	手術手技	10	手術手技コードのみ使用可
8	○	手術時間(分)	4	半角数字（自然数）
9	○	創分類	2	創分類コードを用いる。半角英字。
10	○	ASA	4	ASA 分類コードを用いる。コード変更なし
11	○	緊急	1	0 = 待機/定時手術 1 = 緊急手術
12	○	埋入物	1	0 = なし 1 = あり
13	○	内視鏡	1	0 = 使用なし 1 = 使用あり
14	○	ロボット支援	1	0 = 使用なし 1 = 使用あり
15	(○)	人工肛門造設	1	0 = 造設なし 1 = 造設術あり COL0, SB, REC のときのみ必須
16	○	SSI	1	0 = なし 1 = あり
17	△	感染診断年月日	8	YYYYMMDD 《西暦年、月、日。2008 年 2 月 1 日は、20080201》
18	△	感染特定部位	5	感染部位コードのみ使用可
19	(△)	検体	5	検体コードのみ使用可 《培養検査未実施の場合は空白》
20	(△)	病原体 1	4	菌名コードのみ使用可 《培養検査未実施、または該当データがない場合は空白》
21	(△)	病原体 2	4	菌名コード 《培養検査未実施、または該当データがない場合は空白》
22	(△)	病原体 3	4	菌名コードのみ使用可 《培養検査未実施、または該当データがない場合は空白》
23	(△)	病原体 4	4	菌名コードのみ使用可 《培養検査未実施、または該当データがない場合は空白》
24		皮下膿瘍	1	1 = あり 2 = なし 0 = 不明
25		縫合不全	1	1 = あり 2 = なし 0 = 不明
26		遺残膿瘍	1	1 = あり 2 = なし 0 = 不明

必須「△」は、項目 No. 16【SSI】が[1] (SSI 発生) の場合のみ必須

「(○)」 「(△)」は該当データがあれば必須

## 2. 共通仕様

---

### 2.1. 仕様書内の表現規則

---

#### 2.1.1. 項目

---

データフォーマットの項目名や計算項目を参照する場合は【】で囲って記載する（【】内の番号は、項番を表す）

例）【2. 医療機関】

#### 2.1.2. 結果

---

データフォーマットなどの項目への設定値を表す場合は「」で囲む

例）【3. 手術年月日】が「20120201」であるもの

## 2.2. 共通条件

### 2.2.1. 年報作成の対象医療機関

対象期間のデータを提出した医療機関を対象とする

### 2.2.2. 対象期間

対象期間は、1. データフォーマット【3. 手術年月日】を基準とし、1月から12月の範囲を対象期間とする

例えば、2012 年を対象年とした場合、1. データフォーマット【3. 手術年月日】に「20120101」～「20121231」が設定されているデータを対象とする

### 2.2.3. 医療機関

医療機関は、1. データフォーマット【2. 医療機関】によって分別される

### 2.2.4. 集計対象医療機関

データを提出した全ての医療機関を指す

ただし、異常と判断されたデータを提出した医療機関は除外とする

### 2.2.5. 各医療機関

【2.2.4 集計対象医療機関】の対象となっている医療機関で、個々のデータを算出する際に使用する単位。

### 2.2.6. 手術手技

手術手技は、1. データフォーマット【7. 手術手技】によって分別される

ただし、1. データフォーマット【7. 手術手技】の「BILI-L」「BILI-O」「BILI-PD」を合計した「BILI 合計」、「GAST-D」「GAST-O」「GAST-T」を合計した「GAST 合計」も一覧に表示される。

### 2.2.7. 手術手技分類

手術手技分類は以下の順で表示される。

手術手技分類	表示順番
消化器外科系手術	1
心臓・血管外科系手術	2
整形外科系手術	3
一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	4

手術手技コードの分類は以下の通り。

【7. 手術手技】	手術手技分類	表示順番
APPY	消化器外科系手術	1
BILI-L	消化器外科系手術	2
BILI-PD	消化器外科系手術	3
BILI-O	消化器外科系手術	4
CHOL	消化器外科系手術	5

【7. 手術手技】	手術手技分類	表示順番
COL0	消化器外科系手術	6
ESOP	消化器外科系手術	7
GAST-D	消化器外科系手術	8
GAST-T	消化器外科系手術	9
GAST-O	消化器外科系手術	10
HER	消化器外科系手術	11
LTP	消化器外科系手術	12
REC	消化器外科系手術	13
SB	消化器外科系手術	14
SPLE	消化器外科系手術	15
AAA	心臓・血管外科系手術	16
AAE	心臓・血管外科系手術	17
AVSD	心臓・血管外科系手術	18
CARD	心臓・血管外科系手術	19
CEA	心臓・血管外科系手術	20
CBGB	心臓・血管外科系手術	21
CBGC	心臓・血管外科系手術	22
HTP	心臓・血管外科系手術	23
PACE	心臓・血管外科系手術	24
PVBY	心臓・血管外科系手術	25
TAA	心臓・血管外科系手術	26
TAE	心臓・血管外科系手術	27
VARX	心臓・血管外科系手術	28
AMP	整形外科系手術	29
FUSN	整形外科系手術	30
FX	整形外科系手術	31
HPR0	整形外科系手術	32
KPR0	整形外科系手術	33
LAM	整形外科系手術	34
RFUSN	整形外科系手術	35
BRST	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	36
THOR	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	37
THYR	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	38
XLAP	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	39
CRAN	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	40
VSHN	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	41
CSEC	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	42
HYST	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	43
OVRY	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	44
VHYS	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	45

【7. 手術手技】	手術手技分類	表示順番
KTP	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	46
NEPH	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	47
PRST	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	48
NECK	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	49

## 2.2.8. 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技

1. データフォーマット【7. 手術手技】が以下の手術手技は内視鏡の使用有無別の算出を行う。  
「APPY」、「CHOL」、「COLO」、「ESOP」、「GAST-D」、「GAST-T」、「GAST-O」、「HYST」、「NEPH」、「OVRY」、「PRST」、「REC」、「SPLE」、「THOR」、「VHYS」

## 2.2.9. 数値の表記について

百分率で値を表記する場合、小数第二位を四捨五入し小数第一位までを表示する  
特に表記がある場合については、そちらを優先する

## 2.2.10. データ集計日

集計対象医療機関のデータが集計された日付

## 2.2.11. 公開情報掲載日

公開情報を掲載した日付

## 2.2.12. 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技

1. データフォーマット【7. 手術手技】が以下の手術手技は人工肛門造設の造設有無別の算出を行う。  
「COLO」、「REC」、「SB」

## 2.2.13. 検体

検体コードは以下の通り。

表示名とは、【4.3 公開表 3】に表記する項目名

【18. 検体】	表示名	検体	説明
B	血液	血液	血液
BX	生検	生検（組織、臓器、骨を含む）	生検（組織、臓器、骨を含む）
CSF	脳脊髄液	脳脊髄液	脳脊髄液
DD	臓器/体腔	臓器／体腔からの排液	皮膚切開部、筋膜、筋層を除く部分ならどこでもよい。臓器／体腔から排液するために挿入され、そこが終端となっているドレーンなどの器具からの排液も含む。
ID	表層/深部切開創	表層あるいは深部切開創の排液	表層あるいは深部切開創の排液 皮膚・軟部組織・筋膜・筋層からの排液。筋膜・筋層に挿入されたドレーンの排液を含む。

【18. 検体】	表示名	検体	説明
NSD	手術部位以外の の排液	手術部位以外 の排液	手術部位以外の排液 皮膚・臓器・粘膜面・胎盤・褥創の潰瘍または外傷創からの分泌物・廃液・剥離物・液体。例えば、目、膣、尿道口、会陰、耳、上気道からの分泌物や排液、歯肉または皮膚の剥離物。
R	下気道（喀痰以外）	下気道からの分泌物、洗浄物、吸引物、液体（喀痰以外）	器具あるいは非手術的手技（例：胸腔穿指、胸部チューブ）によって排液された胸水を含む。
S	喀痰	喀痰	喀痰
ST	便もしくは直腸スワブ	便もしくは直腸粘膜擦過スワブ	便もしくは直腸粘膜擦過スワブ
U	尿	尿（清潔に採取されたもの）	清潔採取、恥骨上穿刺、膀胱鏡検査、あるいは尿路カテーテル吸引液
VC	静脈カテーテル先端	静脈カテーテルの先端	半定量的培養手技により陽性の場合に限る。
OTH	その他	その他の検体	その他の検体

## 2.3. 提出データ構造

### 2.3.1. 重複データ

1. データフォーマットのうち下記の項目（キー項目）がすべて一致するものは重複データとみなす  
重複データがあった場合は、報告ファイル内で先にあったものを優先し、後の方を重複エラーとして取り込まない

- ・【2. 医療機関】
- ・【3. 手術年月日】
- ・【4. 患者 ID】
- ・【7. 手術手技】

ファイル内でレコードが重複しています。

報告ファイル内に、キー項目が重複する詳細情報が存在します。

ファイル内で一番初めに出現した有効な行を『有効』とし

以降出現したキー項目の重複する情報は、全て重複として破棄されます。

※キー項目(フォーマットVer.2.0以降)

項目2『医療機関』,項目3『手術年月日』,項目4『患者ID』,項目7『手術手技』

※キー項目(フォーマットVer.1.3以前)

分母データ:項目3『医療機関』,項目5『手術年月日』,項目6『患者ID』,項目9『手術手技』

分子データ:項目3『医療機関』,項目4『管理No』,項目5『患者ID』

### 3. 共通計算式

#### 3.1. 共通計算式一覧

##### 3.1.1. SSI 件数

〔 解説 〕 手術部位感染（SSI）が発生した手術件数

〔 算出方法 〕 1. データフォーマット【15. SSI】が「1」であるデータの件数

##### 3.1.2. 手術件数

〔 解説 〕 手術を行った件数

〔 算出方法 〕 提出された全ての件数

##### 3.1.3. SSI 発生率

〔 解説 〕 【3.1.1 SSI 件数】の【3.1.2 手術件数】に占める割合（％）

〔 算出方法 〕 【3.1.1 SSI 件数】÷【3.1.2 手術件数】× 100

##### 3.1.4. 対象分離菌数

〔 解説 〕 培養検査を施行した検体から対象の病原体が分離された件数

〔 算出方法 〕 1. データフォーマット【19. 病原体 1】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数

+1. データフォーマット【20. 病原体 2】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数

+1. データフォーマット【21. 病原体 3】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数

+1. データフォーマット【22. 病原体 4】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数

##### 3.1.5. リスクインデックス

〔 解説 〕 下記項目の危険度に対し点数を付け、それらの合計をリスクインデックス（RI）とする

- ・ ASA の身体状態分類
- ・ 創分類
- ・ 手術手技に対する手術時間

〔 算出方法 〕 下記点数 A～C の合計をリスクインデックスとする

点数 A : ASA の身体状態分類から点数を求める

1. データフォーマット【10. ASA】の値により下記のように分類する

【10. ASA】	説明	点数 A
ASA1	標準的な健康な患者	0
ASA2	軽い全身疾患の患者	

【10. ASA】	説明	点数 A
ASA3	重篤な全身症状があるが、活動不能でない患者	1
ASA4	日常生活を営めない、常に生命を脅かされている全身疾患の患者	
ASA5	手術の有無にかかわらず、24 時間生きることが予測できない瀕死の患者	
ASA6	脳死状態	

### 点数 B：創分類から点数を求める

1. データフォーマット【9. 創分類】の値により下記のように分類する

【9. 創分類】	創分類名	点数 B
C	清潔創（クラスⅠ）	0
CC	準清潔創（クラスⅡ）	
CO	汚染創（クラスⅢ）	1
D	化膿創（クラスⅣ）	

### 点数 C：手術手技に対する手術時間から点数を求める。

1. データフォーマット【7. 手術手技】ごとに算出した全体の【3. 1. 6 カットオフポイント】を参照し、1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】がこれを超過していた場合、点数 C を 1 点とする。また【2. 2. 8 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技】の場合は【3. 1. 9 内視鏡の有無】ごとにも算出し、それぞれの【3. 1. 6 カットオフポイント】を使用し点数を求める。

例 1) 2012 年年報で、【7. 手術手技】が「AMP」で全体の【3. 1. 6 カットオフポイント】が「99」の場合、【8. 手術時間(分)】が「99」ならば点数 C は 0

例 2) 2012 年年報で、【7. 手術手技】が「AMP」で全体の【3. 1. 6 カットオフポイント】が「99」の場合、【8. 手術時間(分)】が「100」ならば点数 C は 1

例 3) 【7. 手術手技】が「APPY」で内視鏡有のデータで算出する場合、内視鏡有の【3. 1. 6 カットオフポイント】が「110」のとき、【8. 手術時間(分)】が「99」ならば点数 C は 0

### 点数 A～C の合計からリスクインデックスを求める

点数 A～C の合計によって「リスクインデックス」の値を決定する

例) 点数 A～C の合計が 3 点の場合、リスクインデックスは[3]

#### 3. 1. 6. カットオフポイント

〔解説〕 集計対象医療機関が対象期間に報告した手術時間を元に各手術手技のカットオフポイントを算出する。75 パーセンタイル値の算出方法については別紙(箱髭図)参照。  
手術件数が 100 件未満の場合、カットオフポイントが算出されない。

【2.2.8 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技】は全体と内視鏡有、無ごとにカットオフポイントを算出する。また、内視鏡無または、内視鏡有の手術件数が 100 件に満たない場合でも、全体が 100 件以上であれば、内視鏡無、内視鏡有それぞれのカットオフポイントは算出される。

75 パーセンタイルが小数の場合は、小数第一位を繰り上げ整数にする。

〔 算出方法 〕 ・ 全体の場合

【2.2.4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値

・ 内視鏡有の場合

【2.2.8 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技】のみ算出。

【2.2.4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【13. 内視鏡】が「1」の 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値

・ 内視鏡無の場合

【2.2.8 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技】のみ算出。

【2.2.4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【13. 内視鏡】が「0」の 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値

ただし対象期間と手術手技により「カットオフポイント算出に用いるデータ」の期間が異なる。

例 1) 2012 年 1-6 月半期報の場合、【2.2.4 集計対象医療機関】が 1. データフォーマット【3. 手術年月日】に「20120101」～「20120630」に報告されたデータで算出する。

例 2) 2012 年 1-12 月年報の場合、【2.2.4 集計対象医療機関】が 1. データフォーマット【3. 手術年月日】に「20120101」～「20121231」に報告されたデータで算出する。

各帳票ごとのカットオフポイント算出に用いるデータは以下の通り。

公開・還元情報	カットオフポイント算出に用いるデータ
2012 年 1-6 月半期報	2012 年 1-6 月データ
2012 年 7-12 月半期報	2012 年 1-12 月データ（ただし、暫定データを使用）
2012 年 1-12 月年報	2012 年 1-12 月データ（精度管理後のデータを使用）
2013 年 1-6 月半期報	
2013 年 7-12 月半期報	

### 3.1.7. 各パーセンタイル

〔 解説 〕 対象の項目の各パーセンタイルの値を算出する。

〔 算出方法 〕 算出するパーセンタイル値は以下の通り。

- ・ 10 パーセンタイル
- ・ 25 パーセンタイル
- ・ 50 パーセンタイル
- ・ 75 パーセンタイル
- ・ 90 パーセンタイル

算出方法については、別紙(箱髭図)参照。

## 3.1.8. 各性別

- [ 解説 ] 性別は、1. データフォーマットの【6. 性別】の設定値によって分別される。
- [ 算出方法 ] ・ 男  
【6. 性別】が「M」  
・ 女  
【6. 性別】が「F」

## 3.1.9. 内視鏡の有無

- [ 解説 ] 内視鏡の有無は、1. データフォーマットの【13. 内視鏡】の設定値によって分別される。
- [ 算出方法 ] ・ 内視鏡有  
【13. 内視鏡】が「1」  
・ 内視鏡無  
【13. 内視鏡】が「0」

## 3.1.10. 原因菌ごとの対象分離菌数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された、培養検査実施検体の分離菌数
- [ 算出方法 ] 【2.2.2 対象期間】の【3.1.4 対象分離菌数】を菌名コードごとに算出する。ただし、以下の菌はグループごとに算出する。

菌グループ	菌名コード	菌名
<i>Streptococcus</i> spp.	1100	<i>Streptococcus</i> spp.
	1101	$\alpha$ - <i>Streptococcus</i>
	1102	$\beta$ - <i>Streptococcus</i>
	1103	$\gamma$ - <i>Streptococcus</i>
	1117	C 群 $\beta$ - <i>Streptococcus</i>
	1120	F 群 $\beta$ - <i>Streptococcus</i>
	1123	G 群 $\beta$ - <i>Streptococcus</i>
	1141	<i>Streptococcus mutans</i>
	1142	<i>Streptococcus sanguis</i>
	1143	<i>Streptococcus mitis</i>
	1144	<i>Streptococcus anginosus</i>
	1145	<i>Streptococcus intermedius</i>
	1146	<i>Streptococcus bovis</i>
	1147	<i>Streptococcus salivarius</i>
	1148	<i>Streptococcus equinus</i>
	1149	<i>Streptococcus uberis</i>
	1150	<i>Streptococcus constellatus</i> subsp. <i>constellatus</i>
	1151	<i>Streptococcus acidominimus</i>
<i>Enterococcus</i> spp.	1200	<i>Enterococcus</i> spp.
	1209	<i>Enterococcus avium</i>
	1210	<i>Enterococcus avium</i> (VRE)
	1213	<i>Enterococcus durans</i>
	1214	<i>Enterococcus gallinarum</i>

菌グループ	菌名コード	菌名
	1215	<i>Enterococcus casseliflavus</i>
	1216	<i>Enterococcus casseliflavus/gallinarum</i>
	1217	<i>Enterococcus hirae</i>
<i>Enterococcus faecalis</i>	1201	<i>Enterococcus faecalis</i>
	1202	<i>Enterococcus faecalis</i> (VRE)
<i>Enterococcus faecium</i>	1205	<i>Enterococcus faecium</i>
	1206	<i>Enterococcus faecium</i> (VRE)
<i>Staphylococcus aureus</i>	1301	<i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i>
	1303	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)
	1304	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)
	1305	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA) (β 非産生)
	1306	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA) (β 産生)
<i>Staphylococcus</i> , coagulase negative (CNS)	1313	<i>Staphylococcus saprophyticus</i> subsp. <i>saprophyticus</i>
	1314	<i>Staphylococcus hominis</i> subsp. <i>hominis</i>
	1315	<i>Staphylococcus warneri</i>
	1316	<i>Staphylococcus lentus</i>
	1317	<i>Staphylococcus auricularis</i>
	1318	<i>Staphylococcus simulans</i>
	1319	<i>Staphylococcus cohnii</i> subsp. <i>cohnii</i>
	1320	<i>Staphylococcus xylosus</i>
	1321	<i>Staphylococcus sciuri</i> subsp. <i>sciuri</i>
	1322	<i>Staphylococcus intermedius</i>
	1323	<i>Staphylococcus hyicus</i>
	1324	<i>Staphylococcus haemolyticus</i>
	1325	<i>Staphylococcus capitis</i> subsp. <i>capitis</i>
<i>Escherichia coli</i>	2001	<i>Escherichia coli</i>
	2002	<i>Escherichia coli</i> , pathogenic
	2003	<i>Escherichia coli</i> , enterohemorrhagic (EHEC)
	2004	<i>Escherichia coli</i> , enteroinvasive (EIEC)
	2005	<i>Escherichia coli</i> , enteropathogenic (EPEC)
	2006	<i>Escherichia coli</i> , enterotoxin-producing (ETEC)
	2007	<i>Escherichia coli</i> , enteroaggregative (EAEC)
<i>Citrobacter</i> spp.	2050	<i>Citrobacter</i> spp.
	2051	<i>Citrobacter freundii</i>
	2052	<i>Citrobacter koseri</i>
	2053	<i>Citrobacter amalonaticus</i>
	2055	<i>Citrobacter braakii</i>
<i>Serratia</i> spp.	2100	<i>Serratia</i> spp.
	2101	<i>Serratia marcescens</i> subsp. <i>marcescens</i>
	2102	<i>Serratia liquefaciens</i>

菌グループ	菌名コード	菌名
	2103	<i>Serratia plymuthica</i>
	2104	<i>Serratia rubidaea</i>
	2105	<i>Serratia odorifera</i>
<i>Enterobacter</i> spp.	2150	<i>Enterobacter</i> spp.
	2152	<i>Enterobacter aerogenes</i>
	2153	<i>Enterobacter sakazakii</i>
	2154	<i>Enterobacter gergoviae</i>
	2155	<i>Enterobacter asburiae</i>
	2156	<i>Enterobacter cancerogeneus</i>
<i>Pantoea</i> spp.	2170	<i>Pantoea</i> spp.
	2171	<i>Pantoea agglomerans</i>
<i>Proteus</i> spp.	2200	<i>Proteus</i> spp.
	2201	<i>Proteus mirabilis</i>
	2202	<i>Proteus vulgaris</i>
	2203	<i>Proteus penneri</i>
<i>Morganella morganii</i>	2251	<i>Morganella morganii</i> subsp. <i>morganii</i>
<i>Providencia</i> spp.	2300	<i>Providencia</i> spp.
	2301	<i>Providencia rettgeri</i>
	2304	<i>Providencia alcalifaciens</i>
	2305	<i>Providencia stuartii</i>
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2351	<i>Klebsiella pneumoniae</i> subsp. <i>pneumoniae</i>
	2353	<i>Klebsiella pneumoniae</i> subsp. <i>ozaenae</i>
	2354	<i>Klebsiella pneumoniae</i> subsp. <i>rhinoscleromatis</i>
<i>Aeromonas</i> spp.	3050	<i>Aeromonas</i> spp.
	3051	<i>Aeromonas hydrophila</i> subsp. <i>hydrophila</i>
	3052	<i>Aeromonas sobria</i>
	3053	<i>Aeromonas caviae</i>
<i>Haemophilus influenzae</i>	3201	<i>Haemophilus influenzae</i>
	3202	<i>Haemophilus influenzae</i> (β 非産生)
	3203	<i>Haemophilus influenzae</i> (β 産生)
	3205	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype I
	3208	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype II
	3211	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype III
	3214	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype IV
	3217	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype V
	3220	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype VI - 1
	3223	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype VI - 2
<i>Pseudomonas</i> spp.	4000	<i>Pseudomonas</i> spp.
	4011	<i>Pseudomonas putida</i>
	4012	<i>Pseudomonas fluorescens</i>

菌グループ	菌名コード	菌名
<i>Burkholderia</i> spp.	4050	<i>Burkholderia</i> spp.
	4051	<i>Burkholderia cepacia</i>
	4052	<i>Burkholderia mallei</i>
	4053	<i>Burkholderia pseudomallei</i>
<i>Alcaligenes</i> spp.	4100	<i>Alcaligenes</i> spp.
	4101	<i>Alcaligenes faecalis</i> subsp. <i>faecalis</i>
	4102	<i>Alcaligenes xylosoxidans</i> subsp. <i>xylosoxidans</i>
<i>Acinetobacter</i> spp.	4400	<i>Acinetobacter</i> spp.
	4401	<i>Acinetobacter calcoaceticus</i>
	4402	<i>Acinetobacter baumannii</i>
	4403	<i>Acinetobacter lwoffii</i>
Gram-positive anaerobic cocci	5000	<i>Peptostreptococcus</i> spp.
	5001	<i>Finegoldia magna</i>
	5002	<i>Anaerococcus prevotii</i>
	5003	<i>Peptoniphilus asaccharolyticus</i>
	5004	<i>Peptostreptococcus anaerobius</i>
	5005	<i>Ruminococcus productus</i>
	5006	<i>Micromonas micros</i>
	5020	<i>Peptococcus</i> spp.
	5021	<i>Peptococcus niger</i>
	5030	<i>Anaerococcus</i> spp.
	5033	<i>Finegoldia</i> spp.
	5036	<i>Parvimonas</i> spp.
	5039	<i>Peptoniphilus</i> spp.
	5042	<i>Ruminococcus</i> spp.
<i>Clostridium</i> spp.	5050	<i>Clostridium</i> spp.
	5051	<i>Clostridium difficile</i>
	5052	<i>Clostridium perfringens</i>
	5053	<i>Clostridium tetani</i>
	5054	<i>Clostridium botulinum</i>
	5055	<i>Clostridium septicum</i>
<i>Bacteroides</i> spp.	5500	<i>Bacteroides</i> spp.
<i>Bacteroides fragilis</i> group	5501	<i>Bacteroides fragilis</i>
	5503	<i>Bacteroides thetaiotaomicron</i>
	5504	<i>Bacteroides vulgatus</i>
	5505	<i>Bacteroides distasonis</i>
	5507	<i>Bacteroides caccae</i>
<i>Bacteroides</i> spp. (non- <i>fragilis</i> group)	5502	<i>Bacteroides ovatus</i>
	5506	<i>Bacteroides uniformis</i>
<i>Prevotella</i> / <i>Porphyromonas</i> spp.	5550	<i>Prevotella</i> spp.

菌グループ	菌名コード	菌名
	5551	<i>Prevotella melaninogenica</i>
	5552	<i>Prevotella oralis</i>
	5553	<i>Prevotella ruminicola</i> subsp. <i>ruminicola</i>
	5554	<i>Prevotella bivia</i>
	5555	<i>Prevotella buccae</i>
	5556	<i>Prevotella denticola</i>
	5557	<i>Prevotella loescheii</i>
	5558	<i>Prevotella intermedia</i>
	5559	<i>Prevotella corporis</i>
	5600	<i>Porphyromonas</i> spp.
	5601	<i>Porphyromonas asaccharolytica</i>
	5602	<i>Porphyromonas gingivalis</i>
<i>Fusobacterium</i> sp.	5650	<i>Fusobacterium</i> spp.
	5651	<i>Fusobacterium nucleatum</i> subsp. <i>nucleatum</i>
	5652	<i>Fusobacterium varium</i>
	5653	<i>Fusobacterium necrophorum</i> subsp. <i>necrophorum</i>
	5654	<i>Fusobacterium mortiferum</i>
<i>Veillonella</i> sp.	5800	<i>Veillonella</i> spp.
	5801	<i>Veillonella parvula</i>
<i>Corynebacterium</i> spp.	6000	<i>Corynebacterium</i> spp.
	6001	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>
	6002	<i>Corynebacterium jeikeium</i>
<i>Bacillus</i> spp.	6100	<i>Bacillus</i> spp.
	6101	<i>Bacillus cereus</i>
	6102	<i>Bacillus subtilis</i> subsp. <i>subtilis</i>
	6103	<i>Bacillus anthracis</i>
<i>Candida</i> spp.	7000	<i>Candida</i> spp.
	7002	<i>Candida tropicalis</i>
	7003	<i>Candida glabrata</i>
	7004	<i>Candida parapsilosis</i>
	7005	<i>Candida krusei</i>
	7006	<i>Candida guilliermondii</i>
	7007	<i>Candida dubliniensis</i>

## 3. 1. 11. 特定の菌グループの対象分離菌数

〔 解説 〕 対象期間に報告された、培養検査実施検体の分離菌数

〔 算出方法 〕 以下の菌グループが【3. 1. 11 特定の菌グループの対象分離菌数】で上位 5 菌種になった場合、【2. 2. 2 対象期間】の【3. 1. 4 対象分離菌数】を菌名コードごとにも算出する。  
例）上位 5 菌種に「*Enterococcus faecalis*」があった場合は、【2. 2. 2 対象期間】の【3. 1. 4 対象分離菌数】で「1202」を報告した分離菌数も算出する。

菌グループ	別途菌名コードごとの分離菌数を算出する菌	
	菌名コード	菌名
<i>Enterococcus faecalis</i>	1202	<i>Eterococcus feacalis</i> (VRE)
<i>Enterococcus faecium</i>	1206	<i>Eterococcus feacium</i> (VRE)
<i>Staphylococcus aureus</i>	1303	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)

## 3. 1. 12. 緊急と待機

〔 解説 〕 緊急と待機は、1. データフォーマットの【11. 緊急】の設定値によって分別される。

〔 算出方法 〕 ・ 緊急  
【11. 緊急】が「1」  
・ 待機  
【11. 緊急】が「0」

## 3. 1. 13. 埋入物の有無

〔 解説 〕 埋入物の有無は、1. データフォーマットの【12. 埋入物】の設定値によって分別される。

〔 算出方法 〕 ・ 埋入物有  
【12. 埋入物】が「1」  
・ 埋入物無  
【12. 埋入物】が「0」

## 3. 1. 14. 人工肛門造設の有無

〔 解説 〕 人工肛門造設の有無は、1. データフォーマットの【14. 人工肛門造設】の設定値によって分別される。

〔 算出方法 〕 ・ 人工肛門造設有  
【14. 人工肛門造設】が「1」  
・ 人工肛門造設無  
【14. 人工肛門造設】が「0」

## 3. 1. 15. 各感染部位

[ 解説 ] 各感染部位は、1. データフォーマットの【17. 感染特定部位】の設定値によって分別される。

[ 算出方法 ] 【17. 感染特定部位】に対応する各感染部位別に算出。

感染部位	【17. 感染特定部位】	説明
表層切開創	SIP	主要：1 つまたはそれ以上の切開創による手術を行った患者において、 <u>主要な切開創に同定された表層切開創感染。</u> <u>ほとんどの表層切開創感染が SIP に分類される</u>
	SIS	補助的：2 つ以上の切開創による手術を行った患者において、 <u>補助的な切開創に同定された表層切開創感染。</u> （例）手術手技コード CBGB において、グラフト採取部位（手や足など）の創に発生した表層切開層感染
深部切開創	DIP	主要：1 つまたはそれ以上の切開創による手術を行った患者において、 <u>主要な切開創に同定された深部切開創感染。</u> <u>ほとんどの深部切開創感染が DIP に分類される</u>
	DIS	補助的：2 つ以上の切開創による手術を行った患者において、 <u>補助的な切開創に同定された深部切開創感染。</u> （例）手術手技コード CBGB において、グラフト採取部位（手や足など）の創に発生した深部切開層感染
臓器/体腔	BONE	骨髄炎
	BRST	乳房膿瘍または乳腺炎
	CARD	心筋炎または心膜炎
	DISC	椎間板腔の感染
	EAR	耳または乳様突起感染
	EMET	子宮内膜炎
	ENDO	心内膜炎
	EYE	結膜炎以外の眼感染
	GIT	消化管感染
	IAB	他に特定されない腹腔内の感染
	IC	頭蓋内、脳膿瘍または硬膜の感染
	JNT	関節または滑液包感染
	LUNG	その他の下気道感染
	MED	縦隔炎
	MEN	髄膜炎、脳室炎
	ORAL	口腔（口、舌、歯肉）の感染
	OREP	男性または女性生殖器のその他の感染
	OUTI	その他の尿路感染
	SA	脳膜炎を伴わない脊髄膿瘍

感染部位	【17. 感染特定部位】	説明
	SINU	副鼻腔炎
	UR	上気道の感染
	VASC	動脈または静脈の感染
	VCUF	膣断端の感染

### 3.1.16. 人工肛門造設カットオフポイント

- 〔 解説 〕 集計対象医療機関が対象期間に報告した手術時間を元に各手術手技のカットオフポイントを算出する。75 パーセンタイル値の算出方法については別紙（箱髴図）参照。
- 手術件数が 100 件未満の場合、カットオフポイントが算出されない。
- 【2.2.12 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技】は全体と人工肛門造設有、無ごとにカットオフポイントを算出する。また、人工肛門造設無または、人工肛門造設有の手術件数が 100 件に満たない場合でも、全体が 100 件以上であれば、人工肛門造設無、人工肛門造設有それぞれのカットオフポイントは算出される。
- 75 パーセンタイルが小数の場合は、小数第一位を繰り上げ整数にする。
- 〔 算出方法 〕
- ・ 全体の場合
 

【2.2.4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値

ただし、【3.1.6 カットオフポイント】と同じなので、内視鏡の全体の【3.1.6 カットオフポイント】を使用。
  - ・ 人工肛門造設有の場合
 

【2.2.12 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技】のみ算出。

【2.2.4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【14. 人工肛門造設】が「1」の 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値
  - ・ 人工肛門造設無の場合
 

【2.2.12 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技】のみ算出。

【2.2.4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【14. 人工肛門造設】が「0」の 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値
- ただし対象期間と手術手技により「カットオフポイント算出に用いるデータ」の期間が異なる。
- 例 1) 2014 年 1-6 月半期報の場合、【2.2.4 集計対象医療機関】が 1. データフォーマット【3. 手術年月日】に「20130101」～「20131231」に報告されたデータで算出する。
- 例 2) 2013 年 1-12 月年報の場合、【2.2.4 集計対象医療機関】が 1. データフォーマット【3. 手術年月日】に「20130101」～「20131231」に報告されたデータで算出する。

各帳票ごとのカットオフポイント算出に用いるデータは以下の通り（この集計は 2013 年年報からの仕様とする）。

公開・還元情報	カットオフポイント算出に用いるデータ
2013 年 1-12 月年報	2013 年 1-12 月データ（精度管理後のデータを使用）
2014 年 1-6 月半期報	
2014 年 7-12 月半期報	

### 3.1.17. 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス

- [ 解説 ] 下記項目の危険度に対し点数を付け、それらの合計をリスクインデックス（RI）とする
- ・ ASA の身体状態分類
  - ・ 創分類
  - ・ 手術手技に対する手術時間
- [ 算出方法 ] 下記点数 A～C の合計をリスクインデックスとする

#### 点数 A : ASA の身体状態分類から点数を求める

1. データフォーマット【10. ASA】の値により下記のように分類する

【10. ASA】	説明	点数 A
ASA1	標準的な健康な患者	0
ASA2	軽い全身疾患の患者	
ASA3	重篤な全身症状があるが、活動不能でない患者	1
ASA4	日常生活を営めない、常に生命を脅かされている全身疾患の患者	
ASA5	手術の有無にかかわらず、24 時間生きることが予測できない瀕死の患者	
ASA6	脳死状態	

#### 点数 B : 創分類から点数を求める

1. データフォーマット【9. 創分類】の値により下記のように分類する

【9. 創分類】	創分類名	点数 B
C	清潔創（クラスⅠ）	0
CC	準清潔創（クラスⅡ）	
CO	汚染創（クラスⅢ）	1
D	化膿創（クラスⅣ）	

#### 点数 C : 手術手技に対する手術時間から点数を求める。

1. データフォーマット【7. 手術手技】ごとに算出した【3.1.16 人工肛門造設カットオフポイント】を参照し、1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】がこれを超えていた場合、点数 C を 1 点とする。

全体の【3.1.16 人工肛門造設カットオフポイント】は【3.1.6 カットオフポイント】を使用。

【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】ごとにも算出し、それぞれの【3. 1. 16 人工肛門造設カットオフポイント】を使用し点数を求める。

例 1) 2014 年上期報で、【7. 手術手技】が「C0L0」で全体の【3. 1. 16 人工肛門造設カットオフポイント】が「99」の場合、【8. 手術時間(分)】が「99」ならば点数 C は 0

例 2) 2014 年下期報で、【7. 手術手技】が「C0L0」で全体の【3. 1. 16 人工肛門造設カットオフポイント】が「98」の場合、【8. 手術時間(分)】が「99」ならば点数 C は 1

例 3) 【7. 手術手技】が「C0L0」で人工肛門造設有のデータで算出する場合、人工肛門造設有の【3. 1. 16 人工肛門造設カットオフポイント】が「110」のとき、【8. 手術時間(分)】が「99」ならば点数 C は 0

#### 点数 A～C の合計からリスクインデックスを求める

点数 A～C の合計によって「リスクインデックス」の値を決定する

例) 点数 A～C の合計が 3 点の場合、リスクインデックスは[3]

## 4. 帳票別仕様書

### 4.1. 公開表 1

#### [ 帳票イメージ ]

ファイル形式（EXCEL）

シート名「1. 手術手技別手術部位感染の発生率」

各手術手技コードおよび合計の各値を算出する

全ての手術手技コードを表示する（対象期間に提出の無い手術手技コードも表示する）

集計対象医療機関全体値が無い場合、「集計対象医療機関数」、「手術件数合計」は 0、「各医療機関の手術件数の分布」以降の列は「-」を表示する。

（データ列・行が多いので、ここでは帳票イメージを分割して表示する）

(データ列・行が多いので、ここでは帳票イメージを分割して表示する)

4.1.2

4.1.3

4.1.4

4.1.5

4.1.6

4.1.7

4.1.8

4.1.9

## JANIS SSI部門 公開情報 2013年年報

### 1. 手術手技別手術部位感染の発生率

(対象期間 2013年1月1日～2013年12月31日)

#### ①全手術手技合計

集計対象 医療機関数	手術件数 合計 (件)	各医療機関の手術件数の分布 (件)					年齢 (歳)		性別 (件)		SSI件数 合計 (件)	全体のSSI 発生率* (%)
		10歳未満 -未満	25歳未満 -未満	50歳未満 (中央値)	75歳未満 -未満	90歳未満 -未満	平均値	中央値	男	女		
351	137,278	75	143	272	528	788	64.0	68.0	71,058	66,120	8,806	6.4

#### ②消化器外科系手術

手術手技 コード	集計対象 医療機関数	手術件数 合計 (件)	各医療機関の手術件数の分布 (件)					年齢 (歳)		性別 (件)		内視鏡 (件)		緊急と待機 (件)		埋入物 (件)		SSI件数 合計 (件)	全体のSSI 発生率* (%)
			10歳未満 -未満	25歳未満 -未満	50歳未満 (中央値)	75歳未満 -未満	90歳未満 -未満	平均値	中央値	男	女	有	無	緊急	待機	有	無		
APRY	184	7,380	7	18	34	55	80	40.1	38.0	4,295	3,085	3,394	3,986	5,098	1,282	46	7,334	393	5.3
BILI合計	190	5,751	3	7	17	36	73	67.7	69.0	3,625	2,126	955	4,796	130	5,621	145	5,606	904	15.7
BILI-L	172	2,521	2	3	8	17	33	67.4	69.0	1,696	825	556	1,965	23	2,498	24	2,497	214	8.5
BILI-PD	161	1,375	1	2	5	11	20	68.8	70.0	835	540	41	1,334	13	1,362	69	1,306	389	28.3
BILI-O	168	1,855	2	3	7	14	25	67.2	69.0	1,094	761	358	1,497	94	1,761	52	1,803	301	16.2
CHOL	204	11,951	5	23	51	84	119	63.2	65.0	6,488	5,463	9,273	2,678	1,370	10,581	175	11,776	393	3.3
COLO	294	21,266	21	40	64	93	133	66.6	71.0	11,754	9,512	7,889	13,377	3,136	18,130	353	20,913	2,852	13.4
108	874	1	1	3	7	17	66.9	68.0	709	165	340	534	25	849	29	845	208	23.8	
241	11,467	10	21	39	64	90	69.2	71.0	7,237	3,630	2,671	7,796	540	10,827	206	11,263	1,077	9.4	
F-D	234	5,644	4	9	20	33	50	69.6	71.8	3,795	1,849	2,267	3,377	103	5,541	87	5,557	430	7.6
F-T	229	3,287	3	6	12	19	29	69.6	71.0	2,398	891	564	2,723	62	3,225	65	3,222	445	12.6
F-O	225	2,536	2	5	9	14	23	67.9	70.0	1,646	890	840	1,696	475	2,061	54	2,482	232	9.1
131	8,025	4	24	55	89	125	63.6	68.0	6,336	1,689	1,132	6,891	455	7,566	6,094	1,929	61	0.8	
0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
277	8,219	7	14	24	36	58	67.5	69.0	5,113	3,106	3,553	4,666	420	7,799	206	8,013	1,285	15.6	
198	3,769	2	7	16	25	28	67.9	71.8	2,098	1,671	417	3,357	1,901	1,868	89	3,680	570	15.1	
75	228	1	1	2	4	7	61.1	65.0	131	97	80	148	18	209	6	222	5	2.2	

#### ③心臓・血管外科系手術

手術手技 コード	集計対象 医療機関数	手術件数 合計 (件)	各医療機関の手術件数の分布 (件)					年齢 (歳)		性別 (件)		内視鏡 (件)		緊急と待機 (件)		埋入物 (件)		SSI件数 合計 (件)	全体のSSI 発生率* (%)
			10歳未満 -未満	25歳未満 -未満	50歳未満 (中央値)	75歳未満 -未満	90歳未満 -未満	平均値	中央値	男	女	有	無	緊急	待機	有	無		
56	810	1	2	9	18	40	70.5	72.0	666	144	4	806	148	662	704	106	30	3.7	
27	391	1	1	5	19	40	76.0	78.0	313	78	0	391	37	354	370	21	8	2.0	
31	734	1	3	7	29	66	68.6	71.0	463	271	0	734	44	690	135	599	4	0.5	
61	3,398	9	18	40	74	110	61.4	70.0	1,775	1,623	66	3,332	270	3,128	2,796	602	80	2.4	
13	110	1	1	2	7	29	70.5	72.0	91	19	2	108	1	109	21	89	0	0.0	
62	2,008	6	13	24	38	68	69.5	71.0	1,528	480	6	2,002	288	1,720	974	1,034	83	4.1	
48	385	1	2	4	7	24	69.4	71.0	282	103	0	385	37	348	148	237	5	1.3	
0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	603	2	6	11	17	101	73.6	77.0	326	277	1	602	33	570	576	27	3	0.5	

4.1.1

4.1.10

4.1.11

4.1.12

4.1.13

4.1.14

4.1.15

4.1.16

4.1.17

4.1.18

4.1.19

4.1.20

4.1.21

各医療機関のSSI発生率の分布（％）					性別SSI件数		内視鏡 SSI件数（件）		緊急と待機 SSI件数（件）		埋入物 SSI件数（件）		感染部位別SSI件数（件）		
10分～ 25分	25分～ 50分	50分～ 75分	75分～ 90分	90分～	男	女	有	無	緊急	待機	有	無	表層切開創	深部切開創	臓器/体腔
0.0	0.0	4.3	9.2	13.4	254	139	128	265	356	37	5	388	227	41	125
0.0	2.2	13.3	22.1	30.1	611	293	71	833	30	874	27	877	233	75	596
0.0	0.0	0.0	11.3	20.0	150	64	29	185	1	213	2	212	66	19	129
0.0	0.0	21.5	45.5	66.7	263	126	11	378	6	383	19	370	76	25	288
0.0	0.0	10.9	25.0	34.1	198	103	31	270	23	278	6	295	91	31	179
0.0	0.0	2.1	5.4	8.2	278	115	157	236	69	324	7	386	268	36	89
2.8	7.5	12.2	18.8	25.7	1,651	1,201	616	2,236	767	2,085	45	2,807	1,881	309	662
0.0	0.0	13.8	42.9	100.0	185	23	88	120	9	199	8	203	84	38	106
0.0	3.7	7.9	12.5	20.0	826	251	233	844	148	929	22	1,055	393	112	572
0.0	0.0	4.8	10.6	28.0	320	110	122	308	31	399	5	425	166	40	224
0.0	0.0	10.6	18.6	28.6	340	75	72	342	18	400	8	407	101	48	266
0.0	0.0	0.0	16.7	25.0	166	66	38	194	102	130	9	223	126	24	82
0.0	0.0	0.0	1.2	2.4	34	27	4	57	15	46	36	25	45	10	6
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2	7.8	14.3	22.8	33.4	802	383	389	896	129	1,156	26	1,259	562	169	554
5.7	12.7	21.4	35.0	31.2	312	258	42	528	358	212	26	544	401	56	113
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4	1	1	4	0	5	1	4	7	0	3

4. 1. 22

4. 1. 23

4. 1. 24

4. 1. 25

4. 1. 26

4. 1. 27

各医療機関のSSI発生率の分布（％）					性別SSI件数		内視鏡 SSI件数（件）		緊急と待機 SSI件数（件）		埋入物 SSI件数（件）		感染部位別SSI件数（件）		
10分～ 25分	25分～ 50分	50分～ 75分	75分～ 90分	90分～	男	女	有	無	緊急	待機	有	無	表層切開創	深部切開創	臓器/体腔
0.0	0.0	4.9	14.9	23	7	1	29	3	27	23	7	17	7	6	1
0.0	0.0	0.0	1.5	6	2	0	8	1	7	8	0	5	2	1	1
0.0	0.0	0.0	0.0	2	2	0	4	0	4	3	1	3	1	0	0
0.0	1.9	3.9	7.4	48	32	2	78	8	72	71	9	18	27	35	0
0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	0.0	2.6	6.4	14.3	60	23	0	83	16	67	42	41	48	20	15
0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	3	2	0	5	0	5	3	2	1	2	2
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1	2	0	3	1	2	3	0	0	3	0

PVBY	36	393	1	2	7	17	27	70.8	72.0	300	93	0	393	69	324	285	108	16	4.1
TAA	47	1,281	2	5	16	35	65	64.7	69.0	840	441	19	1,262	451	830	1,201	80	58	4.5
TAE	17	197	2	2	4	11	36	71.8	74.0	138	59	0	197	35	162	188	9	1	0.5
VARX	46	988	3	4	8	26	61	64.8	66.0	387	601	3	985	4	984	9	979	2	0.2

## ④整形外科系手術

手術手技 コード＋	集計対象 医療機関数	手術件数 合計（件）	各医療機関の手術件数の分布（件）					年齢（歳）		性別（件）		内視鏡（件）		緊急と待機（件）		埋入物（件）		SSI件数 合計（件）	全体のSSI 発生率*（％）
			10分～ 25分	25分～ 50分	50分～ 75分	75分～ 90分	90分～	平均値	中央値	男	女	有	無	緊急	待機	有	無		
AMP	47	251	1	1	2	6	13	72.8	73.0	166	85	2	249	28	223	10	241	18	7.2
FUSN	65	3,406	1	5	25	56	123	65.1	69.0	1,720	1,686	15	3,391	107	3,299	3,172	234	54	1.6
FX	69	9,103	6	34	100	194	327	65.3	72.0	3,573	5,530	67	9,036	1,224	7,879	8,098	1,005	73	0.8
HPRO	94	5,611	9	22	45	75	138	72.1	74.0	1,112	4,499	69	5,542	243	5,368	5,428	183	44	0.8
KPRO	86	4,171	4	12	32	57	102	74.3	75.0	756	3,415	21	4,150	6	4,165	4,117	54	35	0.8
LAM	60	3,522	2	11	33	81	128	64.8	69.0	2,243	1,279	57	3,465	86	3,436	691	2,831	44	1.2
RFUSN	19	54	1	1	2	4	8	67.0	70.0	22	32	1	53	0	54	49	5	0	0.0

## ⑤一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術

手術手技 コード＋	集計対象 医療機関数	手術件数 合計（件）	各医療機関の手術件数の分布（件）					年齢（歳）		性別（件）		内視鏡（件）		緊急と待機（件）		埋入物（件）		SSI件数 合計（件）	全体のSSI 発生率*（％）
			10分～ 25分	25分～ 50分	50分～ 75分	75分～ 90分	90分～	平均値	中央値	男	女	有	無	緊急	待機	有	無		
BRST	94	3,574	3	9	26	50	79	59.5	60.0	39	3,535	25	3,549	13	3,561	119	3,455	70	2.0
THOR	84	3,046	1	2	13	55	93	59.1	65.0	2,046	1,000	2,167	879	156	2,890	172	2,874	52	1.7
THYR	49	723	1	2	7	14	27	55.9	57.0	175	548	9	714	2	721	11	712	6	0.8
XLAP	146	2,370	2	5	10	21	33	63.5	68.0	1,326	1,044	462	1,908	911	1,459	138	2,232	173	7.3
CRAN	29	2,012	3	18	44	84	179	61.0	64.0	926	1,086	68	1,944	670	1,342	1,283	729	36	1.8
VSHN	27	282	1	3	9	14	27	67.0	71.0	113	169	9	273	31	251	246	36	5	1.8
CSEC	25	2,852	22	50	76	130	220	33.0	33.0	0	2,852	2	2,850	1,049	1,803	14	2,838	33	1.2
HYST	40	1,836	1	7	42	77	98	51.0	48.0	0	1,836	143	1,693	26	1,810	15	1,821	59	3.2
OVRV	38	1,363	1	1	9	51	83	43.1	40.0	0	1,363	730	633	126	1,237	9	1,354	18	1.3
VHYS	20	1,048	4	6	10	44	58	49.6	46.0	0	1,048	676	372	1	1,047	3	1,045	11	1.0
KTP	9	34	1	1	2	5	9	47.3	45.0	17	17	1	33	4	30	4	30	1	2.9
NEPH	50	822	1	3	11	20	39	66.1	68.0	536	286	479	343	13	809	16	806	19	2.3
PRST	38	726	2	5	13	23	55	68.1	69.0	726	0	382	344	1	725	7	719	12	1.7
NECK	20	146	1	1	3	5	10	58.1	60.0	65	81	1	145	5	141	5	141	5	3.4

\*全体のSSI発生率 = (集計対象医療機関のSSI件数合計) ÷ (集計対象医療機関の手術件数合計) × 100

＋手術手技コードに関しては巻末資料参照

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日：2014年06月13日

公開情報掲載日：2014年07月29日

4. 1. 28

4. 1. 29

**〔帳票書式〕**

ヘッダー・帳票タイトル

フォント : Meiryo UI

サイズ : 20 pt

文字色：黒

JANIS SSI部門 公開情報 2013年年報

### 1. 手術手技別手術部位感染の発生率

(対象期間 2013年1月1日～2013年12月31日)

## 表タイトル

フォント : Meiryo UI

サイズ : 14 pt

文字色：黒

項目名・各値

フォント : Meiryo UI

サイズ：10 pt(各医療

機関の SSI 発生率の分

布 (%) 50 ハ°-センチルの

項目名のみ 9 pt)

文字色：黒

10	100	1000	100	10
100	10	100	10	100
1000	100	10	1000	1000

脚注

フォント : Meiryo UI

サイズ : 12 pt

文字色：黒

フッター

フォント : Meiryo UI

サイズ : 12 pt

文字色：黒

## [ 算出方法について ]

### 4.1.1. 対象期間

- [ 解説 ] 対象期間の範囲  
 [ 算出方法 ] 【2.2.2 対象期間】の開始日と終了日

### 4.1.2. 全手術手技合計 集計対象医療機関数

- [ 解説 ] 集計対象医療機関データの集計の対象となった医療機関の件数  
 [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の件数

### 4.1.3. 全手術手技合計 手術件数合計

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術件数合計  
 [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.2 手術件数】

### 4.1.4. 全手術手技合計 各医療機関の手術件数の分布

- [ 解説 ] 各医療機関の対象期間に報告された手術件数の分布  
 小数第一位を繰り上げ、整数表記とする。  
 [ 算出方法 ] 【2.2.5 各医療機関】の【3.1.2 手術件数】を【3.1.7 各パーセンタイル】ごとに算出した手術件数

### 4.1.5. 全手術手技合計 年齢 平均値

- [ 解説 ] 集計対象医療機関の対象期間に報告された年齢の平均値  
 [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の1. データフォーマット【5. 年齢】の合計÷【4.1.3 全手術手技合計 手術件数合計】

### 4.1.6. 全手術手技合計 年齢 中央値

- [ 解説 ] 集計対象医療機関の対象期間に報告された年齢の中央値（50 パーセンタイル値）  
 [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の1. データフォーマット【5. 年齢】を【3.1.7 各パーセンタイル】の50 パーセンタイルで算出した年齢

### 4.1.7. 全手術手技合計 性別ごとの手術件数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の性別ごとの手術件数  
 [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.2 手術件数】を【3.1.8 各性別】ごとに算出する。

### 4.1.8. 全手術手技合計 SSI 件数合計

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の SSI 発生件数  
 [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.1 SSI 件数】

### 4.1.9. 全手術手技合計 全体の SSI 発生率

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の SSI 発生率（%）  
 [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.1.10. 手術手技コード

- [ 解説 ] 対象となる手術手技コード。手術手技を分類ごとに表示
- [ 算出方法 ] 【2.2.6 手術手技】を参照

#### 4.1.11. 集計対象医療機関数

- [ 解説 ] 対象期間に報告した手術手技ごとの医療機関の数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.6 手術手技】の【2.2.3 医療機関】の件数

#### 4.1.12. 手術件数合計

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における手術件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】

#### 4.1.13. 各医療機関の手術件数の分布

- [ 解説 ] 各医療機関の対象期間に報告された各手術手技における手術件数の分布  
小数第一位を繰り上げ、整数表記とする。
- [ 算出方法 ] 【2.2.5 各医療機関】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】を【3.1.7 各パーセンタイル】ごとに算出した手術件数

#### 4.1.14. 年齢 平均値

- [ 解説 ] 集計対象医療機関の対象期間に報告された各手術手技における年齢の平均値
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.6 手術手技】の1. データフォーマット【5. 年齢】の合計÷【4.1.12 手術件数合計】

#### 4.1.15. 年齢 中央値

- [ 解説 ] 集計対象医療機関の対象期間に報告された各手術手技における年齢の中央値（50 パーセンタイル値）
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.6 手術手技】の1. データフォーマット【5. 年齢】を【3.1.7 各パーセンタイル】の50 パーセンタイルで算出した年齢

#### 4.1.16. 性別ごとの手術件数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における性別ごとの手術件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】を【3.1.8 各性別】ごとに算出する。

#### 4.1.17. 内視鏡有無ごとの手術件数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における内視鏡有無ごとの手術件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】を【3.1.9 内視鏡の有無】ごとに算出する。

**4. 1. 18. 緊急、待機の手術件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における緊急または待機の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 2 手術件数】を【3. 1. 12 緊急と待機】別に算出する。

**4. 1. 19. 埋入物の有無ごとの手術件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における埋入物の有無ごとの手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 2 手術件数】を【3. 1. 13 埋入物の有無】ごとに算出する。

**4. 1. 20. SSI 件数合計**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 1 SSI 件数】

**4. 1. 21. 全体の SSI 発生率**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における SSI 発生率（%）
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 3 SSI 発生率】

**4. 1. 22. 各医療機関の SSI 発生率の分布**

- 〔 解説 〕 各医療機関の対象期間に報告された各手術手技における SSI 発生率（%）の分布  
小数第二位を繰り上げ、小数第一位表記とする。
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 5 各医療機関】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 3 SSI 発生率】を【3. 1. 7 各パーセントایل】ごとに算出した SSI 発生率

**4. 1. 23. 性別 SSI 件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における性別ごとの SSI 件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 1 SSI 件数】を【3. 1. 8 各性別】ごとに算出する。

**4. 1. 24. 内視鏡有無ごとの SSI 件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における内視鏡有無ごとの SSI 件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 1 SSI 件数】を【3. 1. 9 内視鏡の有無】ごとに算出する。

**4. 1. 25. 緊急と待機の SSI 件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における緊急または待機の SSI 件数

- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.1 SSI 件数】を【3.1.12 緊急と待機】別に算出する。

#### 4.1.26. 埋入物の有無ごとの SSI 件数

---

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における埋入物の有無ごとの SSI 件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.1 SSI 件数】を【3.1.13 埋入物の有無】ごとに算出する。

#### 4.1.27. 感染部位別 SSI 件数

---

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における各感染部位別の SSI 件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.1 SSI 件数】を【3.1.15 各感染部位】別に算出する。

#### 4.1.28. データ集計日

---

- 〔解説〕 集計対象医療機関の集計日
- 〔算出方法〕 【2.2.10 データ集計日】を参照

#### 4.1.29. 公開情報掲載日

---

- 〔解説〕 公開情報の掲載日
- 〔算出方法〕 【2.2.11 公開情報掲載日】を参照

## 4.2. 公開表 2

## [ 帳票イメージ ]

ファイル形式（EXCEL）

シート名「2. 手術手技別リスクインデックス別手術部位感染の発生率」

手術手技コード毎に各値を算出する

手術手技コードは全ての手術手技コードを表示する（対象期間に提出の無い手術手技コードも表示する）

人工肛門造設有無ごとに算出する手術手技は【2. 2. 12 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技】を参照。

集計対象医療機関全体値が無い場合、「手術件数合計」は 0、「RI-0 手術件数」以降の列は[-]を表示する。

また、カットオフポイントが無い手術手技は「RI-0 手術件数」以降の列は[-]を表示する。

リスクインデックスごとに算出した手術件数が 0 件の場合、該当の「手術件数」は 0 を表示し、「SSI 件数」「SSI 発生率」は[-]を表示する。

4. 2. 42～ 行が多 4. 2. 55～ では帳 4. 2. 68～ 分割して表示する)  
4. 2. 54 4. 2. 67 4. 2. 80

DAVIS SSI 手術 公開情報 2013 年 年報

2. 手術手技別リスクインデックス\*別手術部位感染の発生率  
(対象期間 2013 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日)

4. 2. 1

①消化器外科系手術

手術手技コード	内視鏡 +	手術件数 合計 (件)	手術件数 (件)	SSI 件数 (件)	SSI 発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI 件数 (件)	SSI 発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI 件数 (件)	SSI 発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI 件数 (件)	SSI 発生率 (%)
APRY	合計	7,360	3,982	75	1.8	2,410	112	4.6	895	19	2.1	92	19	20.7
APRY	有	3,394	1,835	44	2.4	1,182	48	4.1	350	32	9.1	27	4	14.8
BILI合計	合計	5,791	3,963	397	11.1	1,866	409	21.9	306	91	29.7	14	7	50.0
BILI-L	合計	2,521	1,610	100	6.2	797	94	11.8	110	19	17.3	4	1	25.0
BILI-PD	合計	1,375	857	214	25.0	438	136	31.1	77	38	49.4	3	1	33.3
BILI-O	合計	1,895	1,091	127	11.6	648	143	22.1	108	26	24.1	8	5	62.5
CHOL	合計	11,951	7,558	133	1.8	3,548	180	5.1	754	64	8.5	91	16	17.6
CHOL	有	2,678	1,447	79	5.4	59	9	15.2	34	5	14.7	5	5	100.0
COLO	合計	9,273	5,027	102	2.0	2,095	141	6.7	530	18	3.4	5	5	100.0
COLO	有	13,377	6,476	772	11.9	102	95	93.1	471	86	18.3	93	2	2.1
ESOP	合計	7,889	5,115	356	7.0	102	17	17.1	51	2	3.9	2	2	100.0
ESOP	有	524	315	59	18.7	189	49	25.9	28	10	35.7	2	2	100.0
GAST合計	合計	340	235	55	23.4	96	32	33.3	9	1	11.1	0	-	-
GAST-O	合計	11,467	6,911	463	6.7	3,965	475	12.0	575	135	23.5	16	4	25.0
GAST-O	有	4,514	326	7.2	2,787	393	14.1	470	117	24.9	25	8	32.0	
GAST-T	合計	2,440	110	4.5	1,102	103	9.3	129	20	15.5	0	-	-	
GAST-T	有	3,627	223	6.1	1,802	168	9.3	212	38	17.9	3	1	33.3	
GAST-O	合計	3,377	2,091	144	6.9	1,117	129	11.5	160	30	18.8	9	5	55.6
GAST-O	有	2,267	1,569	69	4.4	629	45	7.2	69	8	11.6	0	-	-
GAST-T	合計	3,287	2,092	186	8.9	1,053	188	17.9	137	40	29.2	5	1	20.0
GAST-T	有	2,723	1,713	153	8.9	872	154	17.7	131	34	26.0	7	1	14.3
GAST-O	合計	964	377	33	8.8	173	36	20.8	14	4	28.6	0	-	-
GAST-O	有	2,536	1,216	67	5.5	1,087	106	9.8	223	56	25.1	10	3	30.0
GAST-O	有	1,696	735	51	6.9	761	87	11.4	187	53	28.3	13	3	23.1
HER	合計	840	502	19	3.8	294	13	4.4	44	6	13.6	0	-	-
LTP	合計	8,023	5,550	26	0.5	2,262	26	1.1	205	8	3.9	6	1	16.7
RBC	合計	8,219	4,954	599	12.1	2,699	511	18.9	535	164	30.7	31	11	35.5
RBC	有	4,666	2,612	369	14.1	1,625	371	22.8	400	144	36.0	29	12	41.4
SB	合計	3,553	2,363	213	9.0	1,041	146	14.0	141	28	19.9	8	2	25.0
SB	有	3,769	1,523	140	9.2	1,556	220	14.1	584	168	28.8	106	42	39.6
SPLE	合計	228	133	4	3.0	83	1	1.2	12	0	0.0	0	-	-
SPLE	有	148	85	3	3.5	96	1	1.8	7	0	0.0	0	-	-
SPLE	有	80	50	1	2.0	22	0	0.0	8	0	0.0	0	-	-

手術手技コード	人工肛門造設	手術件数 合計 (件)	手術件数 (件)	SSI 件数 (件)	SSI 発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI 件数 (件)	SSI 発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI 件数 (件)	SSI 発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI 件数 (件)	SSI 発生率 (%)
COLO	合計	21,266	11,435	1,161	10.2	7,777	1,095	14.1	1,902	530	27.9	152	66	43.4
COLO	有	17,607	10,298	1,036	10.1	6,158	790	12.8	1,093	253	23.1	58	22	37.9
COLO	有	3,659	1,252	139	11.1	1,464	278	19.0	785	259	33.0	158	75	47.5
RBC	合計	8,219	4,954	599	12.1	2,699	511	18.9	535	164	30.7	31	11	35.5
RBC	有	5,406	3,474	336	9.7	1,659	249	15.0	258	60	23.3	15	2	13.3
RBC	有	2,813	1,480	275	18.5	1,029	257	25.0	280	99	35.4	15	7	46.7
SB	合計	3,769	1,523	140	9.2	1,556	220	14.1	584	168	28.8	106	42	39.6
SB	有	3,283	1,345	124	9.2	1,351	190	14.1	510	139	27.3	77	29	37.7
SB	有	486	178	16	9.0	200	33	16.5	86	28	32.6	22	11	50.0

②心臓、血管外科系手術

手術手続コード	内視鏡	手術件数 合計（件）	R1-0			R1-1			R1-2			R1-3		
			手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）	手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）	手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）	手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）
AAA		810	283	7	2.5	397	17	4.3	125	6	4.8	5	0	0.0
AAE		391	136	3	2.2	208	5	2.4	47	0	0.0	0	-	-
AVSD		734	259	0	0.0	377	1	0.3	93	2	2.2	5	1	20.0
CARD		3,398	681	6	0.9	2,015	41	2.0	688	33	4.8	14	0	0.0
CEA		110	79	0	0.0	29	0	0.0	2	0	0.0	0	-	-
CBGB		2,008	350	5	1.4	1,237	50	4.0	419	27	6.4	2	1	50.0
CBGC		385	100	2	2.0	207	2	1.0	78	1	1.3	0	-	-
HTP		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PACE		603	315	0	0.0	211	1	0.5	77	2	2.6	0	-	-
PVBY		393	164	3	1.8	171	8	4.7	57	4	7.0	1	1	100.0
TAA		1,281	290	16	5.5	784	23	3.0	226	19	8.4	1	0	0.0
TAE		197	52	0	0.0	105	0	0.0	40	1	2.5	0	-	-
VARX		988	724	2	0.3	246	0	0.0	18	0	0.0	0	-	-

## ③整形外科系手術

手術手続コード	内視鏡	手術件数 合計（件）	R1-0			R1-1			R1-2			R1-3		
			手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）	手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）	手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）	手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）
AMP		251	55	1	1.8	105	8	7.6	68	7	10.3	23	2	8.7
RFUSN		3,406	2,309	37	1.6	990	14	1.4	105	3	2.9	2	0	0.0
FX		9,103	5,774	25	0.4	2,983	36	1.2	331	10	3.0	15	2	13.3
HPRO		5,611	3,614	19	0.5	1,816	15	0.8	174	9	5.2	7	1	14.3
KPRO		4,171	2,813	17	0.6	1,248	18	1.4	110	0	0.0	0	-	-
LAM		3,522	2,415	28	1.2	989	11	1.1	115	5	4.3	3	0	0.0
RFUSN		54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## ④一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術

手術手続 コード	内視鏡・ 合計（件）	R1-0			R1-1			R1-2			R1-3			
		手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）	手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）	手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）	手術件数（件）	SSI件数（件）	SSI発生率（%）	
BRST	3,574	2,550	43	1.7	995	23	2.3	29	4	13.8	0	-	-	
THOR	合計	3,046	1,968	20	1.0	934	24	2.6	137	6	4.4	7	2	28.6
	内視鏡	529	323	8	1.5	305	12	3.9	37	2	5.4	4	1	25.0
	合計	2,157	1,429	12	0.8	636	13	2.0	99	3	3.0	3	1	33.3
	内視鏡	723	513	1	0.2	198	5	2.5	12	0	0.0	0	-	-
2.16	合計	2,379	1,188	48	4.0	920	58	6.3	217	51	23.5	47	18	34.0
	内視鏡	2,012	1,088	12	1.1	826	21	2.5	100	3	3.0	0	-	-
	合計	282	149	2	1.3	110	1	0.9	22	2	9.1	1	0	0.0
	内視鏡	2,852	2,127	23	1.1	719	10	1.4	6	0	0.0	0	-	-
2.17~	合計	1,836	1,287	31	2.3	476	26	5.5	23	2	8.7	0	-	-
	内視鏡	1,693	1,231	29	2.4	441	21	4.8	21	1	4.8	0	-	-
	合計	143	106	2	1.9	36	6	16.7	1	0	0.0	0	-	-
	内視鏡	2,353	1,008	9	0.9	339	7	2.1	17	2	11.8	0	-	-
2.19	合計	633	439	2	0.4	165	4	2.4	8	2	25.0	0	-	-
	内視鏡	730	544	7	1.3	181	3	1.7	5	0	0.0	0	-	-
	合計	1,048	784	7	0.9	261	4	1.5	3	0	0.0	0	-	-
	内視鏡	372	278	2	0.7	93	1	1.1	1	0	0.0	0	-	-
2.20~	合計	676	510	6	1.2	164	2	1.2	2	0	0.0	0	-	-
	内視鏡	34	8	0	0.0	18	1	5.6	8	0	0.0	0	-	-
	合計	822	487	6	1.2	287	9	3.1	46	3	6.5	2	1	50.0
	内視鏡	343	195	4	1.2	176	4	2.3	30	5	16.7	3	1	33.3
2.22	合計	479	297	3	1.0	165	4	2.4	24	1	4.2	0	-	-
	内視鏡	728	511	10	2.0	207	2	1.0	8	0	0.0	0	-	-
	合計	344	239	7	2.9	97	2	2.1	8	0	0.0	0	-	-
	内視鏡	382	281	2	0.7	100	1	1.0	1	0	0.0	0	-	-
NECK	146	94	0	0.0	51	5	9.8	1	0	0.0	0	-	-	
STP	合計	34	8	0	0.0	18	1	5.6	8	0	0.0	0	-	-
NEPH	合計	822	487	6	1.2	287	9	3.1	46	3	6.5	2	1	50.0
	内視鏡	343	195	4	1.2	176	4	2.3	30	5	16.7	3	1	33.3
	合計	479	297	3	1.0	165	4	2.4	24	1	4.2	0	-	-
	内視鏡	728	511	10	2.0	207	2	1.0	8	0	0.0	0	-	-
PRST	合計	344	239	7	2.9	97	2	2.1	8	0	0.0	0	-	-
	内視鏡	382	281	2	0.7	100	1	1.0	1	0	0.0	0	-	-
	合計	146	94	0	0.0	51	5	9.8	1	0	0.0	0	-	-
	内視鏡	34	8	0	0.0	18	1	5.6	8	0	0.0	0	-	-

\*リスクインデックスに関しては従来同様参照

なお、手術時間カットオフポイントが設定していない手術手続では、リスクインデックス別SSI発生率は算出されません。

\*内視鏡使用の有無に分けて算出している手術手続：JANIS2008年・2010年の期間で内視鏡を使用した手術が該当手術手続件数の20%以上であった手術手続

算出対象の手術手続は以下の通り。

ABRY, CHOL, COLO, ESOP, GAST-D, GAST-T, GAST-O, REC, SPLE, THOR, HYST, OVRY, VHYS, NEPH, PRST

内臓全摘除術の数を算出したデータではありません。

データ集計日：2014年06月13日  
公開情報掲載日：2014年07月29日

4. 2. 16

4. 2. 17～

4. 2. 19

4. 2. 20～

4. 2. 22

4. 2. 23～

4. 2. 25

4. 2. 26～

4. 2. 28

4. 2. 29

4. 2. 30～

4. 2. 32

4. 2. 33～

4. 2. 35

4. 2. 81

4. 2. 82

4. 2. 36～

4. 2. 38

4. 2. 39～

4. 2. 41

## 〔 帳票書式 〕

ヘッダー・帳票タイトル

フォント：Meiryo UI

サイズ：20 pt

文字色：黒

表タイトル

フォント：Meiryo UI

サイズ：16 pt

文字色：黒

項目名・各値

フォント：Meiryo UI

サイズ：10 pt

文字色：黒

脚注

フォント：Meiryo UI

サイズ：12 pt

文字色：黒

フッター

フォント：Meiryo UI

サイズ：12 pt

文字色：黒

## [ 算出方法について ]

### 4.2.1. 対象期間

- [ 解説 ] 対象期間の範囲
- [ 算出方法 ] 【2.2.2 対象期間】の開始日と終了日

### 4.2.2. 手術手技コード

- [ 解説 ] 対象となる手術手技コード。手術手技を分類ごとに表示
- [ 算出方法 ] 【2.2.6 手術手技】を参照。内視鏡有無ごとに算出する手術手技は【2.2.8 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技】を参照

### 4.2.3. 合計 手術件数合計

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの手術件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】

### 4.2.4. 合計 RI-0 手術件数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である手術件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.2 手術件数】

### 4.2.5. 合計 RI-0 SSI 件数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である SSI 発生件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.1 SSI 件数】

### 4.2.6. 合計 RI-0 SSI 発生率

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である SSI 発生率(%)
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.3 SSI 発生率】

### 4.2.7. 合計 RI-1 手術件数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である手術件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

### 4.2.8. 合計 RI-1 SSI 件数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である SSI 発生件数

- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

#### 4.2.9. 合計 RI-1 SSI 発生率

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である SSI 発生率(%)
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.2.10. 合計 RI-2 手術件数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である手術件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.11. 合計 RI-2 SSI 件数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である SSI 発生件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

#### 4.2.12. 合計 RI-2 SSI 発生率

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である SSI 発生率(%)
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.2.13. 合計 RI-3 手術件数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である手術件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.14. 合計 RI-3 SSI 件数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である SSI 発生件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

#### 4.2.15. 合計 RI-3 SSI 発生率

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である SSI 発生率(%)
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

**4.2.16. 内視鏡無 手術件数合計**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの内視鏡無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.2 手術件数】

**4.2.17. 内視鏡無 RI-0 手術件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である内視鏡無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.2 手術件数】

**4.2.18. 内視鏡無 RI-0 SSI 件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である内視鏡無の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.1 SSI 件数】

**4.2.19. 内視鏡無 RI-0 SSI 発生率**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である内視鏡無の SSI 発生率(%)
- 〔 算出方法 〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.3 SSI 発生率】

**4.2.20. 内視鏡無 RI-1 手術件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である内視鏡無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

**4.2.21. 内視鏡無 RI-1 SSI 件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である内視鏡無の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

**4.2.22. 内視鏡無 RI-1 SSI 発生率**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である内視鏡無の SSI 発生率(%)

- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.2.23. 内視鏡無 RI-2 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である内視鏡無の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.24. 内視鏡無 RI-2 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である内視鏡無の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

#### 4.2.25. 内視鏡無 RI-2 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である内視鏡無の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.2.26. 内視鏡無 RI-3 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である内視鏡無の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.27. 内視鏡無 RI-3 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である内視鏡無の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

#### 4.2.28. 内視鏡無 RI-3 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である内視鏡無の SSI 発生率(%)

- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.2.29. 内視鏡有 手術件数合計

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの内視鏡有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.30. 内視鏡有 RI-0 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である内視鏡有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.31. 内視鏡有 RI-0 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である内視鏡有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.1 SSI 件数】

#### 4.2.32. 内視鏡有 RI-0 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である内視鏡有の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.2.33. 内視鏡有 RI-1 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である内視鏡有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.34. 内視鏡有 RI-1 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である内視鏡有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

**4. 2. 35. 内視鏡有 RI-1 SSI 発生率**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である内視鏡有の SSI 発生率(%)
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「1」である【3. 1. 3 SSI 発生率】

**4. 2. 36. 内視鏡有 RI-2 手術件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 2 点である内視鏡有の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「2」である【3. 1. 2 手術件数】

**4. 2. 37. 内視鏡有 RI-2 SSI 件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 2 点である内視鏡有の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「2」である【3. 1. 1 SSI 件数】

**4. 2. 38. 内視鏡有 RI-2 SSI 発生率**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 2 点である内視鏡有の SSI 発生率(%)
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「2」である【3. 1. 3 SSI 発生率】

**4. 2. 39. 内視鏡有 RI-3 手術件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 3 点である内視鏡有の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「3」である【3. 1. 2 手術件数】

**4. 2. 40. 内視鏡有 RI-3 SSI 件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 3 点である内視鏡有の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「3」である【3. 1. 1 SSI 件数】

**4.2.41. 内視鏡有 RI-3 SSI 発生率**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である内視鏡有の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

**4.2.42. 人工肛門造設 合計 手術件数合計**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの手術件数。
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】

**4.2.43. 人工肛門造設 合計 RI-0 手術件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.2 手術件数】

**4.2.44. 人工肛門造設 合計 RI-0 SSI 件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.1 SSI 件数】

**4.2.45. 人工肛門造設 合計 RI-0 SSI 発生率**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.3 SSI 発生率】

**4.2.46. 人工肛門造設 合計 RI-1 手術件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

**4.2.47. 人工肛門造設 合計 RI-1 SSI 件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

**4.2.48. 人工肛門造設 合計 RI-1 SSI 発生率**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

**4.2.49. 人工肛門造設 合計 RI-2 手術件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

**4.2.50. 人工肛門造設 合計 RI-2 SSI 件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

**4.2.51. 人工肛門造設 合計 RI-2 SSI 発生率**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

**4.2.52. 人工肛門造設 合計 RI-3 手術件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

**4.2.53. 人工肛門造設 合計 RI-3 SSI 件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

**4.2.54. 人工肛門造設 合計 RI-3 SSI 発生率**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

**4. 2. 55. 人工肛門造設無 手術件数合計**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの人工肛門造設無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 2 手術件数】

**4. 2. 56. 人工肛門造設無 RI-0 手術件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 0 点である人工肛門造設無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3. 1. 2 手術件数】

**4. 2. 57. 人工肛門造設無 RI-0 SSI 件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 0 点である人工肛門造設無の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3. 1. 1 SSI 件数】

**4. 2. 58. 人工肛門造設無 RI-0 SSI 発生率**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 0 点である人工肛門造設無の SSI 発生率(%)
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3. 1. 3 SSI 発生率】

**4. 2. 59. 人工肛門造設無 RI-1 手術件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である人工肛門造設無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3. 1. 2 手術件数】

**4. 2. 60. 人工肛門造設無 RI-1 SSI 件数**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である人工肛門造設無の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3. 1. 1 SSI 件数】

**4. 2. 61. 人工肛門造設無 RI-1 SSI 発生率**

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である人工肛門造設無の SSI 発生率(%)

- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.2.62. 人工肛門造設無 RI-2 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設無の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.63. 人工肛門造設無 RI-2 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設無の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

#### 4.2.64. 人工肛門造設無 RI-2 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設無の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.2.65. 人工肛門造設無 RI-3 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設無の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.66. 人工肛門造設無 RI-3 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設無の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

#### 4.2.67. 人工肛門造設無 RI-3 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設無の SSI 発生率(%)

- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.2.68. 人工肛門造設有 手術件数合計

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの人工肛門造設有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.69. 人工肛門造設有 RI-0 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である人工肛門造設有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.70. 人工肛門造設有 RI-0 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である人工肛門造設有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.1 SSI 件数】

#### 4.2.71. 人工肛門造設有 RI-0 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である人工肛門造設有の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.2.72. 人工肛門造設有 RI-1 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である人工肛門造設有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

#### 4.2.73. 人工肛門造設有 RI-1 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である人工肛門造設有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

**4.2.74. 人工肛門造設有 RI-1 SSI 発生率**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である人工肛門造設有の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

**4.2.75. 人工肛門造設有 RI-2 手術件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

**4.2.76. 人工肛門造設有 RI-2 SSI 件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

**4.2.77. 人工肛門造設有 RI-2 SSI 発生率**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設有の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

**4.2.78. 人工肛門造設有 RI-3 手術件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

**4.2.79. 人工肛門造設有 RI-3 SSI 件数**

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

#### 4.2.80. 人工肛門造設有 RI-3 SSI 発生率

---

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設有の SSI 発生率(%)
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

#### 4.2.81. データ集計日

---

- [ 解説 ] 集計対象医療機関の集計日
- [ 算出方法 ] 【2.2.10 データ集計日】を参照

#### 4.2.82. 公開情報掲載日

---

- [ 解説 ] 公開情報の掲載日
- [ 算出方法 ] 【2.2.11 公開情報掲載日】を参照

## 4.3. 公開表 3

## [ 帳票イメージ ]

ファイル形式（EXCEL）

シート名「3. 手術部位感染の原因菌」

各手術手技コードおよび合計、各検体コードの各値を算出する

全ての手術手技コードを表示する（対象期間に提出の無い手術手技コードも表示する）

全ての検体コードを表示する（対象期間に提出の無い検体コードも表示する）

集計対象医療機関の SSI 件数合計が無い場合は、「SSI 件数合計」に 0、「培養検査実施件数合計」以降の列に[-]を表示する。

培養検査実施件数合計が 0 件の場合は「培養検査実施件数合計」に 0、「総分離菌数」以降の列に[-]を表示する。

総分離菌数が 0 件の場合は「総分離菌数」に 0、「原因菌 上位 5 菌種」の菌名と分離菌数に[-]を表示する。

（データ列・行が多いので、ここでは帳票イメージを分割して表示する）

JANIS SSI部門 公開情報 2013年年报									
3. 手術部位感染の原因菌									
(対象期間 2013年1月1日～2013年12月31日)									
①全手術手技合計									
検体別	SSI件数 合計 (件)	培養検査実施件数 合計 (件)	総分離菌数 (株)	原因菌 上位5菌種 (株)				原因菌 上位5菌種 (株)	
合計	882(8)	5,475	7,951	1. 菌名	分離菌数	2. 菌名	分離菌数	3. 菌名	分離菌数
全検	27	17	24	Enterococcus faecalis *	1052(4)	Staphylococcus aureus *	850(56)	Pseudomonas aeruginosa	717
全検	28	28	33	Staphylococcus aureus *	14(7)	Streptococcus spp.	3	Bacteroides fragilis group	2
全検	3,133	3,133	4,581	Enterococcus faecalis *	620(2)	Staphylococcus aureus *	560(36)	Enterococcus faecalis *	471
全検	1	1	1	Staphylococcus aureus *	4(3)	Escherichia coli	3	Enterobacter cloacae	2
全検	1	1	1	Pseudomonas aeruginosa	1	Enterococcus faecalis *	1(0)	Staphylococcus aureus *	2
全検	1	1	1	Staphylococcus aureus *	1(1)	Enterococcus faecalis *	1(0)	Enterobacter cloacae	1
全検	1	1	1	Staphylococcus aureus *	1(0)	Enterobacter cloacae	8	Staphylococcus aureus *	6(4)
全検	1	1	1	Enterobacter cloacae	8	Staphylococcus aureus *	6(4)	Escherichia coli	1
②心臓、血管外科手術									
手術手技 コード	SSI件数 合計 (件)	培養検査実施件数 合計 (件)	総分離菌数 (株)	原因菌 上位5菌種 (株)				原因菌 上位5菌種 (株)	
AAA	30	21	23	1. 菌名	分離菌数	2. 菌名	分離菌数	3. 菌名	分離菌数
AAE	6	6	5	Enterococcus faecalis *	7(6)	Corynebacterium spp.	4	Pseudomonas aeruginosa	3
				Staphylococcus aureus *	6(5)	Enterobacter cloacae	2(0)	Enterobacter cloacae	2

## ③心臓、血管外科系手術

手術部位 コード	SSI件数 合計（件）	挿管挿管実地件数 合計（件）	総分離数（株）	原因菌 上位5菌種（株）			
				1. 菌名	分離数	2. 菌名	分離数
AAA	30	21	23	Staphylococcus aureus *	7(6)	Corynebacterium spp.	4
AAE	8	8	15	Staphylococcus aureus *	6(5)	Enterococcus faecalis *	2(0)
AVSD	4	3	3	Staphylococcus aureus *	2(2)	Pseudomonas aeruginosa	1
CAAD	80	76	76	Staphylococcus aureus *	45(24)	Staphylococcus epidermidis	10
CEA	0	-	-	-	-	Staphylococcus coagulase negative (CNS)	4
CBGC	83	59	59	Staphylococcus aureus *	29(17)	Staphylococcus epidermidis	7
CBGC	5	4	3	Staphylococcus aureus *	2(2)	Enterobacter cloacae	1
HTP	0	-	-	-	-	-	-
PAGE	3	3	2	Staphylococcus aureus *	1(1)	Staphylococcus epidermidis	1
PVBY	16	14	16	Staphylococcus aureus *	8(5)	Enterococcus faecalis *	1(0)
TAA	58	39	34	Staphylococcus aureus *	15(12)	Pseudomonas aeruginosa	4
TAE	1	1	1	Corynebacterium spp.	1	Escherichia coli	3
VARX	2	1	1	Staphylococcus aureus *	1(1)	-	-

\*Enterococcus faecalis分離数0.5株、菌名コード1202 Enterococcus faecalis (VRE)と記載された件数はカウント内  
\*Staphylococcus aureus分離数0.5株、菌名コードK1303 Staphylococcus aureus (MRSA)と記載された件数はカウント内  
\*Enterococcus faecium分離数0.5株、菌名コードK1206 Enterococcus faecium (VRE)と記載された件数はカウント内

## ④整形外科系手術

手術部位 コード	SSI件数 合計（件）	挿管挿管実地件数 合計（件）	総分離数（株）	原因菌 上位5菌種（株）			
				1. 菌名	分離数	2. 菌名	分離数
AMP	18	16	22	Staphylococcus aureus *	12(8)	Corynebacterium spp.	3
FUSN	54	46	45	Staphylococcus aureus *	19(5)	Staphylococcus epidermidis	8
FX	73	61	62	Staphylococcus aureus *	34(24)	Staphylococcus epidermidis	5
HPRO	44	38	32	Staphylococcus aureus *	15(5)	Staphylococcus epidermidis	3
KPRO	35	34	30	Staphylococcus aureus *	16(6)	Streptococcus spp.	3
LAI	44	41	40	Staphylococcus aureus *	22(9)	Staphylococcus epidermidis	5
SFUSN	0	-	-	-	-	Staphylococcus coagulase negative (CNS)	3

\*Enterococcus faecalis分離数0.5株、菌名コードK1202 Enterococcus faecalis (VRE)と記載された件数はカウント内  
\*Staphylococcus aureus分離数0.5株、菌名コードK1303 Staphylococcus aureus (MRSA)と記載された件数はカウント内

## ⑤一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術

手術部位 コード	SSI件数 合計（件）	挿管挿管実地件数 合計（件）	総分離数（株）	原因菌 上位5菌種（株）			
				1. 菌名	分離数	2. 菌名	分離数
BRST	70	28	32	Staphylococcus aureus *	20(8)	Staphylococcus epidermidis	4
THOR	52	40	47	Staphylococcus aureus *	27(16)	Streptococcus spp.	4
THYR	6	1	2	Escherichia coli	1	Klebsiella pneumoniae	1
XLAP	173	90	138	Staphylococcus aureus *	17(15)	Enterococcus faecalis *	15(0)
CRAN	36	31	28	Staphylococcus aureus *	11(9)	Staphylococcus coagulase negative (CNS)	4
USHN	5	3	3	Staphylococcus aureus *	1(1)	Staphylococcus coagulase negative (CNS)	1
CSCC	33	14	16	Staphylococcus aureus *	3(2)	Bacteroides fragilis group	2
HYST	59	21	31	Staphylococcus aureus *	4(3)	Escherichia coli	3
OVRY	18	4	6	Escherichia coli	2	Klebsiella pneumoniae	1
OVTS	11	4	9	Enterococcus faecalis *	3(0)	Escherichia coli	2
KTP	1	1	3	Candida spp.	2	Enterococcus faecalis *	2(0)
NEPH	19	11	11	Staphylococcus aureus *	3(2)	Enterococcus faecalis *	2(0)
PRST	12	5	5	Staphylococcus aureus *	3(3)	Pseudomonas aeruginosa	1
NECK	5	3	4	Staphylococcus aureus *	1(1)	Escherichia coli	1

\*Enterococcus faecalis分離数0.5株、菌名コードK1202 Enterococcus faecalis (VRE)と記載された件数はカウント内  
\*Staphylococcus aureus分離数0.5株、菌名コードK1303 Staphylococcus aureus (MRSA)と記載された件数はカウント内

本公表データは国内の全医療機関のデータを集計したデータではありません。

原因菌 上位5菌種（株）			
分離数	3. 菌名	分離数	4. 菌名
4	Pseudomonas aeruginosa	3	Enterococcus faecalis *
2(0)	Enterobacter spp.	2	Pseudomonas aeruginosa
1	-	-	-
10	Staphylococcus coagulase negative (CNS)	4	Corynebacterium spp.
7	Staphylococcus coagulase negative (CNS)	5	Corynebacterium spp.
1	-	-	-
1	-	-	-
1(0)	Serratia spp.	1	Enterobacter spp.
4	Escherichia coli	3	Corynebacterium spp.

以下、菌数17で同数、[Staphylococcus epidermidis]  
以下、菌数17で同数、[Streptococcus agalactiae][Staphylococcus coagulase negative (CNS)]  
以下、菌数27で同数、[Escherichia coli][Staphylococcus coagulase negative (CNS)][Candida albicans]  
以下、菌数27で同数、[Serratia spp.][Enterobacter spp.][Pseudomonas aeruginosa][Clostridium difficile]  
以下、菌数17で同数、[Staphylococcus sp.][Staphylococcus coagulase negative (CNS)][Staphylococcus epidermidis][Pseudomonas aeruginosa]  
以下、菌数27で同数、[Candida albicans]

以下、  
分離はカウント内  
以下、分離はカウント内

原因菌 上位5菌種（株）			
分離数	3. 菌名	分離数	4. 菌名
3	Enterococcus faecalis *	2(0)	Enterococcus spp.
8	Staphylococcus coagulase negative (CNS)	3	Enterobacter cloacae
5	Enterococcus faecalis *	4(1)	Enterobacter cloacae
3	Corynebacterium spp.	2	Escherichia coli
3	Staphylococcus epidermidis	3	Corynebacterium spp.
5	Staphylococcus coagulase negative (CNS)	3	Enterobacter cloacae
-	-	-	-

以下、菌数17で同数、[Bacteroides fragilis group][Klebsiella oxytoca][Serratia marcescens]  
以下、菌数17で同数、[Gram-positive anaerobic cocci][Corynebacterium spp.][Staphylococcus coagulase negative (CNS)][Pseudomonas aeruginosa]  
以下、菌数27で同数、[Staphylococcus epidermidis]  
以下、菌数17で同数、[Enterococcus spp.][Staphylococcus coagulase negative (CNS)][Serratia spp.][Klebsiella pneumoniae][Pseudomonas spp.][G-  
以下、菌数27で同数、[Pseudomonas aeruginosa]  
以下、菌数17で同数、[Gram-positive anaerobic cocci][Corynebacterium spp.][Bacillus spp.][Gram-negative bacilli][Streptococcus agalactiae][Staphy-  
以下、菌数17で同数、[Staphylococcus epidermidis][Pseudomonas aeruginosa][Clostridium difficile]

以下、  
分離はカウント内  
以下、分離はカウント内

原因菌 上位5菌種（株）			
分離数	3. 菌名	分離数	4. 菌名
4	Enterococcus spp.	2	Enterobacter spp.
4	Staphylococcus coagulase negative (CNS)	3	Pseudomonas aeruginosa
1	-	-	-
15(0)	Enterobacter cloacae	15	Pseudomonas aeruginosa
4	Corynebacterium spp.	1	Bacillus spp.
1	Staphylococcus epidermidis	1	-
2	Prevotella/porphyromonas spp.	2	Corynebacterium spp.
1	Enterococcus spp.	3	Gram-positive anaerobic cocci
1	Pseudomonas aeruginosa	1	Klebsiella pneumoniae
2	Prevotella/porphyromonas spp.	2	Klebsiella pneumoniae
1(0)	Bacteroides fragilis group	1	Corynebacterium spp.
1	Propionibacterium acnes	1	Staphylococcus coagulase negative (CNS)
1	Corynebacterium spp.	1	Staphylococcus coagulase negative (CNS)

以下、菌数17で同数、[Gram-positive anaerobic cocci][Corynebacterium spp.][Staphylococcus coagulase negative (CNS)][Pseudomonas aeruginosa]  
以下、菌数27で同数、[Staphylococcus epidermidis]  
以下、菌数17で同数、[Pseudomonas aeruginosa]  
以下、菌数17で同数、[Staphylococcus epidermidis][Pseudomonas aeruginosa][Clostridium difficile]

以下、  
分離はカウント内  
以下、分離はカウント内

データ集計日：2014年06月13日

公開情報掲載日：2014年07月29日

4. 3. 19

4. 3. 20

**〔帳票書式〕**

[illegible]

## 〔 算出方法について 〕

## 4.3.1. 対象期間

- 〔 解説 〕 対象期間の範囲
- 〔 算出方法 〕 【2.2.2 対象期間】の開始日と終了日

## 4.3.2. 全手術手技合計 SSI 件数合計

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.1 SSI 件数】

## 4.3.3. 全手術手技合計 培養検査施行件数合計

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の培養検査実施件数
- 〔 算出方法 〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の1. データフォーマット【18. 検体】が空白ではない【3.1.1 SSI 件数】

## 4.3.4. 全手術手技合計 総分離菌数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の、培養検査実施検体の分離菌数の合計（複数分離された場合はそれぞれを集計）
- 〔 算出方法 〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.4 対象分離菌数】の合計

## 4.3.5. 全手術手技合計 原因菌上位 5 菌種 菌名

- 〔 解説 〕 集計対象医療機関の対象期間に報告された、培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の菌名
- 尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。菌によりイタリック表示される箇所もある。
- 〔 算出方法 〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.4 対象分離菌数】を【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】ごとに算出し、上位 5 菌種の菌名を求める

## 4.3.6. 全手術手技合計 原因菌上位 5 菌種 分離菌数

- 〔 解説 〕 集計対象医療機関の対象期間に報告された、培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の各分離菌数
- 各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。
- 尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。5 位に該当する菌が複数ある場合は、右側に
- ※以下、菌数△で同数。[○○○][○○○][○○○][○○○]
- と表示し、同数の菌名を全て表示する（△には分離菌数、○には菌名が入る）。
- 特定の菌名（グループ）が上位 5 菌種になった場合は別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。また表下に
- ※○○○分離菌数のうち、菌名コード 0000 ○○○と報告された件数はカッコ内と表示する（○には菌名、0000 に菌名コードが入る）。
- 特定の菌名（グループ）が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合も別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。

- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の上位 5 菌種の【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】を求める
- 5 位に該当する菌が複数ある場合
- 例) 以下、菌数 2 で同数。[*Candida* spp.][*Staphylococcus*, coagulase negative (CNS)]
- 特定の菌名(グループ)が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合
- 例) 以下、菌数 2 で同数。[*Enterococcus faecium* (1)]
- 特定の菌名(グループ)が上位 5 菌種になった場合
- 例) \**Enterococcus faecalis* 分離菌数のうち、菌名コード 1202 *Enterococcus faecalis* (VRE) と報告された件数はカッコ内
- (括弧)内は【3.1.11 特定の菌グループの対象分離菌数】を参照

#### 4.3.7. 検体コード

- [ 解説 ] 対象となる検体コード。
- [ 算出方法 ] 【2.2.13 検体】のを参照。コードではなく「表示名」を表示。

#### 4.3.8. 各検体別の SSI 件数合計

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各検体における SSI 発生件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.13 検体】の【3.1.1SSI 件数】

#### 4.3.9. 各検体別の培養検査施行件数合計

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各検体における培養検査実施件数
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.13 検体】の【3.1.1SSI 件数】

#### 4.3.10. 各検体別の総分離菌数

- [ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各検体における、培養検査実施検体の分離菌数の合計（複数分離された場合はそれぞれを集計）
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.13 検体】の【3.1.4 対象分離菌数】の合計

#### 4.3.11. 各検体別の原因菌上位 5 菌種 菌名

- [ 解説 ] 集計対象医療機関の対象期間に報告された、各検体における培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の菌名
- 尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。菌によりイタリック表示される箇所もある。
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.13 検体】の【3.1.4 対象分離菌数】を【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】ごとに算出し、上位 5 菌種の菌名を求める

#### 4.3.12. 各検体別の原因菌上位 5 菌種 分離菌数

- [ 解説 ] 集計対象医療機関の対象期間に報告された、各検体における培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の各分離菌数
- 各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。

尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。5 位に該当する菌が複数ある場合は、右側に

※以下、菌数△で同数。[○○○][○○○][○○○][○○○]

と表示し、同数の菌名を全て表示する（△には分離菌数、○には菌名が入る）。

特定の菌名（グループ）が上位 5 菌種になった場合は別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。また表下に

※○○○分離菌数のうち、菌名コード 0000 ○○○と報告された件数はカッコ内と表示する（○には菌名、0000 に菌名コードが入る）。

特定の菌名（グループ）が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合も別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。

[ 算出方法 ] 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 13 検体】の上位 5 菌種の【3. 1. 10 原因菌ごとの対象分離菌数】を求める

5 位に該当する菌が複数ある場合

例) 以下、菌数 2 で同数。[*Candida* spp.][*Staphylococcus*, coagulase negative (CNS)]

特定の菌名（グループ）が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合

例) 以下、菌数 2 で同数。[*Enterococcus faecium* (1)]

特定の菌名（グループ）が上位 5 菌種になった場合

例) \**Enterococcus faecalis* 分離菌数のうち、菌名コード 1202 *Enterococcus faecalis* (VRE) と報告された件数はカッコ内

（括弧）内は【3. 1. 11 特定の菌グループの対象分離菌数】を参照

#### 4. 3. 13. 手術手技コード

[ 解説 ] 対象となる手術手技コード。手術手技を分類ごとに表示

[ 算出方法 ] 【2. 2. 6 手術手技】を参照。

#### 4. 3. 14. SSI 件数合計

[ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における SSI 発生件数

[ 算出方法 ] 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 1 SSI 件数】

#### 4. 3. 15. 培養検査施行件数合計

[ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における培養検査実施件数

[ 算出方法 ] 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の 1. データフォーマット【18. 検体】が空白ではない【3. 1. 1 SSI 件数】

#### 4. 3. 16. 総分離菌数

[ 解説 ] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における、培養検査実施検体の分離菌数の合計（複数分離された場合はそれぞれを集計）

[ 算出方法 ] 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 4 対象分離菌数】の合計

#### 4.3.17. 原因菌上位 5 菌種 菌名

- [ 解説 ] 集計対象医療機関の対象期間に報告された、各手術手技における培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の菌名  
尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。菌によりイタリック表示される箇所もある。
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.4 対象分離菌数】を【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】ごとに算出し、上位 5 菌種の菌名を求める

#### 4.3.18. 原因菌上位 5 菌種 分離菌数

- [ 解説 ] 集計対象医療機関の対象期間に報告された、各手術手技における培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の各分離菌数  
各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。  
尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。5 位に該当する菌が複数ある場合は、右側に  
※以下、菌数△で同数。[○○○][○○○][○○○][○○○]  
と表示し、同数の菌名を全て表示する（△には分離菌数、○には菌名が入る）。  
特定の菌名（グループ）が上位 5 菌種になった場合は別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。また表下に  
※○○○分離菌数のうち、菌名コード 0000 ○○○と報告された件数はカッコ内と表示する（○には菌名、0000 に菌名コードが入る）。  
特定の菌名（グループ）が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合も別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。
- [ 算出方法 ] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の上位 5 菌種の【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】を求める  
5 位に該当する菌が複数ある場合  
例）以下、菌数 2 で同数。[*Candida* spp.][*Staphylococcus*, coagulase negative (CNS)]  
特定の菌名（グループ）が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合  
例）以下、菌数 2 で同数。[*Enterococcus faecium* (1)]  
特定の菌名（グループ）が上位 5 菌種になった場合  
例）\**Enterococcus faecalis* 分離菌数のうち、菌名コード 1202 *Enterococcus faecalis* (VRE) と報告された件数はカッコ内  
（括弧）内は【3.1.11 特定の菌グループの対象分離菌数】を参照

#### 4.3.19. データ集計日

- [ 解説 ] 集計対象医療機関の集計日
- [ 算出方法 ] 【2.2.10 データ集計日】を参照

#### 4.3.20. 公開情報掲載日

- [ 解説 ] 公開情報の掲載日
- [ 算出方法 ] 【2.2.11 公開情報掲載日】を参照

## 4.4. 資料 手術手技コード、手術時間カットオフポイント一覧

## [ 帳票イメージ ]

ファイル形式（EXCEL）

シート名「資料」

手術手技コード、手術時間カットオフポイント一覧

コード	手術部位	説明	合計	内臓臓器	内臓臓器
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	347	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	186	-	-
AMP	切取	切取を伴う全身麻酔または全身麻酔の切取	115	-	-
APFY	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	90	93	87
ASD	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	102	-	-
ASD	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	442	-	-
ASD	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	388	-	-
ASD	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	388	-	-
ASD	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	381	-	-
ASD	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	148	-	-
ASD	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	376	-	-
ASD	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	405	-	-
ASD	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	377	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	298	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	160	147	218
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	241	21	29
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	280	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	70	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	803	833	335
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	258	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	105	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	313	351	389
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	341	348	378
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	340	420	323
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	280	300	327
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	91	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	121	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	-	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	172	182	170
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	138	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	381	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	161	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	-	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	239	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	298	304	383
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	119	102	138
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	110	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	277	290	358
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	285	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	328	358	301
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	-	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	186	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	304	340	330
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	482	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	284	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	234	222	288
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	211	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	102	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	109	118	98
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	115	-	-
ASA	全身麻酔	全身麻酔を伴う全身麻酔の切取	129	-	-

リスクインデックス (Risk Index : RI)

ASA\*の身体状態分類 (0:健康な成人)

+ 1:軽度 (0:健康な成人) + 2:中等度 (0:健康な成人)

この分類 (0:健康な成人 ~ 3:重度) はリスクインデックス (RI)。

\* 米国麻酔学会 American Society of Anesthesiologists

ASAの身体状態分類

コード	説明	RI
ASA1	健康な成人	0.0
ASA2	軽度、全身麻酔の患者	1.0
ASA3	重度、全身麻酔の患者、活動制限のない患者	2.0
ASA4	重度、全身麻酔の患者、活動制限のない患者	3.0
ASA5	手術の危険にさらされる、24時間経過することが予後でない患者の患者	4.0
ASA6	死に瀕する	5.0

別分類

コード	別分類	RI
C	術前 (0:健康な成人)	0.0
CC	術中 (0:健康な成人)	1.0
CD	術後 (0:健康な成人)	2.0
D	化膿 (0:健康な成人)	3.0

手術時間

カットオフポイント内 0.0、1.0、2.0

KTRPは2013年1月~2013年12月のデータ

4.4.1

4.4.2

4.4.3

4.4.4

\* 手術時間カットオフポイントは2013年1月~2013年12月の手術時間より算出

なお、手術時間が100分以上の手術は除外

## リスクインデックス（Risk Index：RI）

ASAの身体状態分類（0.4または1.4）  
 4 身体状態（0.4または1.4）4 手術時間（0.4または1.4）  
 この値は（0.4～1.4）をリスクインデックスとする。  
 \* 米国麻酔学会 American Society of Anesthesiology

## ASAの身体状態分類

コード	説明	RI
ASA1	健康な患者	0.4
ASA2	軽度の全身麻酔	0.4
ASA3	軽度の全身麻酔があるが、手術に支障はない	1.4
ASA4	重度の全身麻酔があるが、手術に支障はない	1.4
ASA5	手術の危険にさらされる。2-4 手術時間による手術に支障はない	1.4
ASA6	死亡状態	1.4

## 身体状態

コード	身体状態	RI
C	健康な（0.4）	0.4
CC	軽度の（0.4）	0.4
CD	軽度の（0.4）	1.4
D	重度の（0.4）	1.4

## 手術時間

カットオフポイント以内 0.4、超過 1.4  
 KTRPは2012年1月～2013年12月の手術

4.4.5



## [ 算出方法について ]

### 4.4.1. コード

---

- [ 解説 ]           手術手技コード。  
 [ 算出方法 ]      【2.2.6 手術手技】を参照

### 4.4.2. 手術時間カットオフポイント（全体）

---

- [ 解説 ]           リスクインデックスを算出する為の各手術手技のカットオフポイント。  
                     「GAST 合計」は手術手技「GAST-D」「GAST-T」「GAST-O」の合計で 75 パーセンタイル  
                     を求める。「BILI 合計」も同様。  
                     小数第一位を繰り上げ、整数表記とする。  
                     カットオフポイントが無い場合、[-]を表示  
 [ 算出方法 ]      【3.1.6 カットオフポイント】の全体をを参照。

### 4.4.3. 手術時間カットオフポイント（内視鏡有）

---

- [ 解説 ]           内視鏡有のリスクインデックスを算出する為の各手術手技のカットオフポイント。  
                     「GAST 合計」は手術手技「GAST-D」「GAST-T」「GAST-O」の合計で 75 パーセンタイル  
                     を求める。  
                     小数第一位を繰り上げ、整数表記とする。  
                     カットオフポイントが無い場合、[-]を表示  
 [ 算出方法 ]      【3.1.6 カットオフポイント】の内視鏡有を参照。

### 4.4.4. 手術時間カットオフポイント（内視鏡無）

---

- [ 解説 ]           内視鏡無のリスクインデックスを算出する為の各手術手技のカットオフポイント。  
                     「GAST 合計」は手術手技「GAST-D」「GAST-T」「GAST-O」の合計で 75 パーセンタイル  
                     を求める。  
                     小数第一位を繰り上げ、整数表記とする。  
                     カットオフポイントが無い場合、[-]を表示  
 [ 算出方法 ]      【3.1.6 カットオフポイント】の内視鏡無を参照。

### 4.4.5. カットオフポイント算出に用いるデータの期間

---

- [ 解説 ]           カットオフポイント算出のための集計対象期間  
 [ 算出方法 ]      【3.1.6 カットオフポイント】を参照。